

を努めて修得せられん事を幾遍にも御勧めしたい、でなければ今迄やつて来た連中が日本へ歸つて何時も頭の擧がる時がないと同じ運命に下落して下ふそれならさつさと學問に見きりをつけた方がどれ程増したか知れたものではない、これを考へないと天晴十年の學も無慘く失敗にて終る。

どうか前者の轍に重ねて踏み入らぬ様に御注意ありたし、以上はみな學資の無い人の話である、學資があつて履歴も不足なければ何所でも望みの學校に入つて自由にやれるか頭腦のない人は始めからソーエライ大學を選んでそれに入る譯には往かぬ、殊に同じやうな人の多い學校へ行つても頭角を現はせないやうでは矢張り其甲斐がない。

### 農事を經營せんとする人へ

苟くも海外發展を切望して渡米せんとする所の人は其抱負の大なるもの

があるが故に將來は日米大貿易をやるとか、何千エーカーの大地主となるとかが其目的である。

働く事や學問の方を捨て、此農事界へ従事せんとする人は農園にどうかして住み込み實地の研究にとりかゝる、二三年も續けて作物の事土地の事を調査してから相應の智識を得たと思ふた所で年賦或は一時拂で土地を購ひとるけれどこれは却て難しいと覺悟せねばならぬ渡米すれば忽ち數千エーカーの地主になれると思ひ込むやうな組織的でない頭の人はずきに屁古垂れて手を放し又は少しばかりの成功に満足してゐたりする、もともと趣味のない生活を厭や／＼ながら營んでゐるうちにはいつか借金も出來人の手に奪はれ了ふ破目に陥る、それも生得の百姓で農事に慣れ切つた人ならたとへ一エーカー、二エーカーでも苦にせず堅忍不拔の精神を以て急かすにやつて行く且つ永住の見込みで妻子を伴つた人であれば成績が漸次に



擧つて行かう、そうでないと先づ斷念しなければならぬ。  
 でないと折角資本を下ろしても何時回収の豫算も立たず精々やり上げた  
 所でその三分の一かその半分位に止まつて終るが多い、これは大に熟考し  
 た上で、以上の事實を明かにした上で不撓の意力から企圖を百年の後に期  
 するやうな人でなければ徒ら嘆息するばかりで中には這々の體で動きのと  
 れぬ窮境に入つて行く。

短日月の間で出来る事でないのだから忍耐力を餘程練磨しないと到底克  
 ち得ない人になる、加之度々經驗のある事だが作物とマーケットブライズ  
 とが日本などより密着の關係ある事である、作物が豊かにとれてもそれで  
 直ぐ儲かるとは極らない、諸地方に渡つて豊作であつてもその爲に、苺な  
 ら苺を腐敗に任せる事がある日本の所謂田園生活などを空想してゐては一  
 寸間違である、そこには巧妙な商才がなくてはならぬ、單純な農業家の心

持だけでは無駄に過ぎない、込み入つた事情が絡まつてゐる、何んだつて  
 難しくない事業などありはしないが數千エーカーの大地主になるんでなく  
 て大言壯言して輕々に飛び出して行く事はもう廢めにするがよい、着手以  
 前十分呑み込んでから手を出すのが安全の一つである、記者は何れかと云へ  
 ば在米同胞は三エーカーでも五エーカーでも多く土地を求め永住の基礎を  
 固めるのが何よりの希望であるが平凡なやうでも斯ういふ複雑した内容が  
 あるので、頭から想像だけでは駄目又何千エーカーの地主とか云ふやうな  
 名稱だけに心をとられてもいけぬ、それに米國農園の趣味が日本程でない  
 から困難な場合が多い従つて何處迄も持ち耐えて行ける人に乏しい、中途  
 へ來て俄かに放抛したくなる、賣り拂ふやうにもなる、之では全然失敗の上  
 塗りである、こゝに永住して墓碑を建立する決心でなければ始めから計畫  
 しないが得である、私はこの覺悟ある人以外に農業を勧めるのを躊躇する。



或人の如きは唯土地さへ取つておけば何時でも恰好に處置が出来ると思つて買ひおく人もあるが買つておいたばかりでは何の利益もなくどうにも仕方がない、それでゐて賣却する段になれば殆んど捨て賣りに投げ出さねばならず、金を貯へておくなら利子も上がるけれど土地は捨て、おいては俄に左程の利益にもならぬ、忘れても注意すべきである。

### 商店會社などに入らんとする人に告ぐ

白人の商店會社に雇れやうとするには却て太平洋沿岸では至難の事に屬す萬更、無いとは斷言もせぬが、餘り當にしない方がよい、尤も下働きとして荷造り勸工場の賣子などに従事してゐる人はある。併しながら中央及びイーストとなれば必ずそうとも限らず、今迄行つた人にも雇はれてゐる人が少くない、青年會或は牧師宣教師などの世話の下で入つた人が至つて

多い、元より使役されやうとする人は英語を自由に使ふといふ事が第一の條件である、信者で熱心な人なら主人が不信者であつても反つて信任して呉れる。

又、一つのを修業する適格の家を望むならこれを預め取り調べておく必要がある、かういふ人は一時様子を見る爲めとして太平洋沿岸でハウスオークするとかクックとなりなどするが之れは斷然止して初めからイーストに行く事が得策である、どうも一年位稽古したり、模様を見るといふ人でも何となく厭になつて、イーストの方に行く事は日本から米國に行く位に感じ費用もそれ以上要するので事が憶劫になつてそれ切りそこへ腰を据えて了ふ人が多い、同時に日本の青年會牧師有名な實業家から向ふのそれぞれの人に對して紹介狀を貰つて行く事も條件の一つである。すれば大概は成功の素地が出来る、で案外高い月給まで受けた例もある、又其所で二三



年勤めてから日本へ歸り好望な地位を得てゐる人もある、一つの事を調べに行くのでその事に就いては精確な智識と經驗とを有つてゐるなら日本へ歸つても勤めには困らない、或は米國の店にて立ち働く時も少しづつ主人の依頼で間接日本と取引してゐる人もあるその様な人が信用を得て歸朝後その信用丈で品物を送つて來られてゐる人もある。

これは必ず太平洋沿岸にとまらず直進、オーストに行き全く白人間に入り込んで英語しか話さぬ米國商人となるがよい、而して目的なるその仕事を研究すると同時に、日米間に交渉を開けば、立派に日米貿易にも従事されるやうになり、成功の基礎はこゝに開かれるのである。

飽迄も正直で、熱心なるクリスチャンであれば、而して英語が自由に話せれば白人間に信用されて仕事を大きく進めて行く事も決して難事ではない。殊にその様な志願者の爲に著者は、豫め米國の大商店に交渉を開いて

一年に二人なり三人なりこゝに稽古に行くやうに特約を結ぶつもりである。

例へば、元祖なる米國デパートメントストアのワナメイカーが五十年の奮闘を築き上げたデパートメントストアの如きに、氏に話して人を送る如き色々名ある人は知れて居れば之れに關係をつける考へである。

確實の人であれば、成功せんとするなら今は、おさんどんやハウスオークなどでなくも幾らも方法は有る。

### 一個人をたよりて行く人に告ぐ

随分これまでも、今でも、米人の或大きな商店や或紳士をたよつて行く人もあるこれも成功の一方法である、大學に入るも大學の校長、商店に入るは或相當な人の紹介で大商店に勤め又は未知の人々でも名聞の高い人を慕



つて自ら紹介して行く人もある。これ等は善い事なれば偉い人だからとて恐れずに直接打つかつて見たる方がよいのである。世に聞えた人や偉い人はイーストに居るからこれに當つてみる、今の力行會の或る會員の如きは前國務卿ルートさんの許に今働いてゐる、これは難事かといふにそうでない、住み込もうとすれば入れもする山下氏がブライアンの許をたよつて行き遂にその眞面目で決心の強いところを見てこれを引き取り勉強さしたかう云ふ例も少くないから、大統領でもルーズベルトでも自らたよる可き人と見極めたら随分行く事は悪くない、流石は米人、決して悪く扱ふとはしない自分の家に置かぬ迄も不親切にはせぬ、何處の教師でも新聞記者、牧師でも人格のある人なら冷酷な應接はしない、あの豪商、あの學者、あの偉人に深く見込みが立つたら構はず行くがよからう畑井博士の如きは一人の生物學者ウースターに見込みをつけられ生涯の大事業として人間の頭腦を

研究して何不自由なき生活をヒラデルフヤのペンシルヴェニア大學に續けてゐる、或は長澤鼎氏のハリス、新島氏のハリス氏に於ける如くその例は澤山ある。

ど、し、く、出、掛、け、て、行、き、自、己、の、眞、性、を、其、人、に、打、ち、明、け、て、や、れ、ば、行、つ、た、だ、け、の、事、は、十、分、あ、る。

煩悶などせずともいくら道は開けて來る、天才ある人なら如何なる事でも決して尻込みする必要はない、必ず運命は開かれる、如何なる方面にもそれ／＼大家はゐる、數學なら數學、醫なら醫術、齒科醫でも天才ありと思ふ人は、米國へ行くがよい、天才は國の寶であるが、日本には未だその發展の道が開けてゐない、米國へ行けば而して天才なれば人種の區別も無く道が開かれてゐる故どし／＼出かけるがよい、又其の天才ならず類似の人でも決心と、精力とがあれば見込みがある、著者の所でもそれ／＼紹



介の勞を執ることを辭さない。

個人として米國の現存の有名なる人々を知らんとあれば丸善に注文して  
フースフーインアメリカ

(who's who in America)

と云ふ本を取り寄せて見れば總て分る、米人は一片の手紙に對しても丁寧  
に返事を送るし、先達も著者及び著者の門下生が連合して、ジョージ五世  
に祝辭を送つた時にも、タフトに同じく祝詞を送つた時にも、返事が直に  
來た、日本では未だ國務大臣邊りでも手紙を送つても見向きもせぬやうな  
人もあるが、こゝは米人は違ふ、親切で、大概の事は能くしてくれる、己  
れも自信があり、見込みが立つたら遠慮せず依頼して見るがよい。

### 發明家に告ぐ

發明家は實に國家の重寶で最も經濟的人物である國家の恩人のみか更に  
人類の恩人だ金の無い國、日本の如きは資本無しに金儲けするにはどうも  
發明家の出るに限るやうだ、是迄日本には大發明家を有する誇りがゼロで  
あつたが近來その人がそろ／＼殖えて來た、今世界で各高い發明家はエヂ  
ソンである今ではもう大分老ひ込んで耳も聾したとはいへ歴史上には誠に  
珍らしい人物で或は今後も現れぬかも知れない、この人は未だ存在してゐ  
るから會つて見るのも好からうと思ふ、此人の意見では發明家は天才に非  
ずしていくらも教育されるもの、十二才位の頃は非常にさうした好奇心が  
強いから其頃から教育すれば確に立派な發明家を出す事が出来る、斯う云  
ふ事を言つてゐる人だから此人に就いて學ぶ程の思ひ切つた考へがなく  
は駄目である日本今日の畫家かなんその様に徒らに天狗の鼻較べでは仕様  
がない、それよりも謙遜して世界的の人にならうとしなくてはいけない、



リコギや鑄鉢の改良鏝節かきの發明位ではどうにもなつたものでない、米國に行つて世界的發明を學ぶ可きである、エヂソンは曰く「發明品は最も金を呑む猶太人すらも買ふやうなものを發明せねば發明とはいへぬ」と。

世界を見ぬ日本の發明は如何であらう、盛んに看板出したり、苦學生に押し賣りでもさせる外能がないではないか、無理に買はされて見て役に立たぬ事がなほ明かに知れ渡る位、これでは泣きたい程心細い至りである。

エヂソン氏の様な人に教はりその働きの方法を見たり活動寫眞や蓄音機の如きものを發明しながら着々その世界的發明に近附いて行く方がよい米國では如斯人には思ひ切つた金を投げる人も澤山ある、その苦心を相應に買つて呉れる材料も豊富に得られもする。

小暗い日本に閉ちこもつて發明にかゝるよりは米國に踏み出して大に活動する事が大事である、高峯氏の如きはタカジアスターゼの發明で急に有

名になり宛然宮殿の様な宏壯な家に這入りニューヨークに於て日本人の花と呼ばれてゐる。

一體發明などは、ニューヨークの如き米國の真中でやる方が便宜である、尙無線電信のマルコニーや北極の發見者ペリーのやうな人もあると共に世界第一流の學校と云はれてゐるシカゴ大學やその他の大學の實驗標本室、重なる都市の博物館を皆見たばかりでも如何に多くの暗示が與へられるが米國では日本人でも何んでも取り用ふるのみか、もし成功の見込みでもあれば扶助して金も出してくれる、日本では山師位にしか思はれないのに彼地に行けば發明事業に人種上の區別なぞもない。自分にそうした發明の才能がないのにさもあるやうに自惚れて行つたからつて何にもならぬのは知れた筈である、が實際天才ある人ならば極つて出来るに相違ない、力行會員で米國に於て飛行機を發明したる鷹左右氏の如き内地にゐた時から自動車



のドライバーとしてこの方面に關係して文明的にもこの方面に野心を抱いてゐたエヂソン、マルコニーにも會つたり高嶺氏をも訪れたりして志す所に進めばこれは排日にもなんにもならないから至つて歓迎してくれる。最もやり方が悪いと失敗もする高嶺さんだつてジャガイモからホイスキーを取ると云つて失敗した事もある、一々成功するとは行くものでないがこの方に抱負のある人は熱心に研究して行けば遂には其の効果が得られるプラ／＼してゐるより發明に従事せんとする人にとつて米國は最好の適地であるから大に突進するがよろし。

### 視察者に告ぐ

毎年農工商の階級からブラシユ鐵時計工場興信所シヤボンその他の農工商の或物を視察に米國や歐洲へ向ふものが却々多いらしい行くのはよいが

其目的を達し得ない人が随分ある、少しも出来ないのにノツソリ戻つて來たらしい風もあつた彼地では知己の少ない人の間を見廻つたのと唯、領事や牧師等に連れられて屠所の羊よろしくと歩いて來てから一旦日本へ歸つては當推量を大相に吹き立てる、かういふことは日本人のためとしてもその報告を受け取つた資金の元方にも、これを聞く公衆などにも一般に係り氣の毒な目を見せる、金も費消して不經濟も甚たしい會社商店などには派遣する人についてこの邊の注意をとらねばならぬ、こんなゾマな眞似をやるよりは家に居てその方の書籍でも懸命に讀んだ方増しかも知れぬ、第一、英語のだめな人これはどうも不便である日本の商店では功績もあり手廣く働いてゐるので日本では其事業に通曉してゐるか知らんが英語が出來ないでは仕方がないそれで行くと極つたら二三年前からでも學び始めて少なくとも機械の名、その事業に要する文字並にそれに関する會話位は解



つてゐるやうにしたい、記者は在米當時此種の日本人に驚く可き事を見せられた事がある、それから宗教上の研究が行き届いて彼等白人間に交つて互に氣心を理解し合ふ人となつてゐなければ信用もされぬので筆の利かない場合が多く起つて来る、どうかこれを考への内に入れておきたい、とにかく人情風俗にも通じて、斯ういふ所では出てよいものかどうか、時刻の訪問すべき時か否やそんな端の事まで一寸知らなければならぬ、一般の風俗人情を深く呑み込んでからでないといふ失敗と喜劇が亂發される、譬へは博勞なら博勞、小間物屋は小間物屋とそれ等社會の或る骨が明かでないれば閉口する場合が多い、最後に一つ或工場では此奴怪しいと思へば誰でも見せる普通の所へは入れて或大切な所になると入場を拒絶される、眞似られてはいけないと思つて入れぬ事があるので、記者も斷れて來たと云ふ人と同船した事がある、然もそれは記者が已に見た工場であつた。

日本へ歸つて見聞せぬ個所を本當らしく法螺ふく人もある、記者などは却つて視察でないのに見せられた事もある、日本人は眞似をしたり、型を盗みに來るものと思はれてゐる、損な事である、それ故紹介者がないと却々入られない向きがあるからそれ／＼紹介状を忘れず持つて行くに限る。ソ一すれば便利に視察も出来る、特に在日本の宣教師か大使館あたりから紹介されて行けば都合よいのである、これを怠つて行けば到る所で思ひに任せず領事館の調査を聞いたり新聞記者に尋ねたりしたのをさも自分で調べたやうに云つたとて何にもならむ、唯漠然と高層な家屋、賑な街を覗いて歸ただけでは手をつける所もない、會社等より派出される人も出ず方でも視察本來の精神を遂行するやうに努められたいものだ。此方から信用ある人の紹介で行けば普通人の入れぬところも見せられて來る、信用しられると云ふ事は大切な事である。



## 渡米開業せんとする日本醫へ

渡米して成功してゐる日本醫も随分太平洋沿岸各地に見受けられる、病院も設立して居る、然るに日本の私立醫學校並にその他の醫學專門學校を卒業した人々から渡米後の開業に就いて照會して來る人もあり、無鐵砲に飛び出してから窮迫の余り遙かに手紙を寄せる人もあるが、是等に對する忠告は先づ開業試験は英語で受けねばならぬ、たとへ主として日本人の患者を得意とするにしても試験を通過するにはどうしても英語の要がある事だ大抵の日本醫は向ふへ行つて開業も出來ず困つた揚句白人の醫師名義の下に開業したり又日本人の病院の醫員となつたりしてゐる彼地に渡る開業醫の目的は一つに根本からは勉強し直ほした上捲土重來せんとするため、ドクトルの學位を荷なつて來たいと云ふ人、金を貯めやうと考へてる人又はこれを兼ねた人である。

はこれを兼ねた人である。

開業が自由に出來ればこれも思ふ通りにも行くだらうがそうでないと惡いと知つても、もぐり醫者となり下がり人を診察することは出來ても公然と横行する譯には行かず利益もこれに應じて少ない故、故郷から金を取り寄せて大學を出てドクトルオブメデシンにでもなりそれから開業すれば一番好いやうだ、が唯、ドクトル位では日本に歸つて來ても大きに信用してはくれないらしい。腸滿と懷妊とを誤認すると迄米國歸りのドクトルを侮辱し獨逸歸りのドクトルメデネーは一所に見られたくはないと意氣巻いてゐる様である、殊に田舎で一と旗擧げ定得意も極つてゐたのに未練なくこれを捨て、出懸けるのは一寸考へものであらうと思ふ、それもドクトルさへとれないとなつては更に面目が立たない、小此木君がフレスノで成功した小板橋君がシャトルで橋本修吉君が桑港で評判がよいと聞いてはしか



と分別も決定せぬのに思ひ立つては出掛けたりなぞして散々困つてゐる人もある、これではどうも無駄な事であるから、どうせ行かうとするなら米國有名の醫科大學を卒業して博士にでもなる位の意見込みでか、且又、何か一つ専門の學科を定め内外科といふやうな大袈裟な風呂敷は擴げずにもうでも其道の大家にでもなる勢ひで渡米を決行するなら深く案ずる事もなからうが米國では専門で名聲あつても日本へ歸つてからの奈何を知つてゐないと甘く行かない事もある、これは日本にゐる間から大分に或有望な科目を撰んでおく必要がある。

醫者でありながら米國に往つてからクック、ハウスオークをしてゐるなどは大分氣の利かぬ事夥しい、誠に下らぬ事である。

評判の好い土地を捨てはやりかけた得意を余所にして行く人などは其常識に訴へて熟慮ありたし、十分金も出來直にも學校へ入り得る用意を整へ

てから行くがよい。

上陸してから何處へ行かうかと考へてゐたり在米日本醫に相談を持ち込んだりするやうな事なく行く前から渡米の上は必ず大成すべしと決心してそれが爲には十分に調査もし語學も學資も準備して直ちに其行かうと決心せし學校に直行するに限るのである、然る時は即ち日本醫の渡米は國家に利益のある事は明かである。

### 新聞 廣告をとらんとする人に

米國では廣告を出す事がすべて商人の成功の秘訣と心得大概のものは積概的に實行してゐる、中には飽まで出さぬと云ふひねくれ屋もあるがこれはお話にする程の數でもない、が一般は廣告に苦心してゐてザダイナリはそれで立派に生計を立て、行くで各地の新聞雜誌はこの廣告あるために至



つて安價で賣られる譯である日曜の朝の新聞などを見ると五十頁乃至百頁にもなつてゐるそれが僅か十仙で賣つてゐる、ある所では五仙で賣つてゐる、してこのうちには世界中の種々様々の記事が輻輳して掲載してゐる一週間の事件がすつかり解るやうに出来上つてゐる頗る便利なものである、日本からの漫遊者などは之を初めて見ると珍しがつて買ひ集めこれ切りてトランクが一杯になつて困つたと云ふ事實談がある、實際勿體ないと思はれる程立派に出来てゐる、これは讀者も多いのにも原因するが廣告が澤山とれるからで安くしても差し支へなのだ、この影響を受けてゐる所から太平洋沿岸各地の十數種の邦字新聞及雜誌などでは廣告が澤山ある新聞によつて一面の半分乃至三分の二を廣告で埋めてゐる、有ゆる手段をめぐらして廣告せんと求めてゐる、道路の衝當り電柱、窓、馬車生きた人間までが廣告に使はれてゐる、一日も廣告は欠く可らずとしてどしどし競つてやつ

て居る、日本の様に出し溢つたり、安く値切つたり一旦出しておきながら金をよこさなかつたりする事は更に無い、日本の新聞雜誌に米國各地大商店會社の廣告をとりに行かうとするには日本の確實な雜誌なら應じてくれる現にこれをやつてゐるものがある程である、日本の信用ある新聞雜誌の所有者或は専門に廣告取る人などは僅打ある真正にして大きな新聞雜誌と契約して向ふへ行き廣告を引受けなば大變な廣告が得られるのである、現にある人の如きは、これを取つて、日本に特別の雜誌を出してゐた事があつた、それだけでも數千の利得を得つゝあつた。今でも廣告を約束して來て此出版物を出さんとしてゐる人もある、これも大に着眼すべき一方面的れば益々其事業を擴張するのも望ましい事である、

もし行くやうだつたら日本にゐる間、専門の取引所か農商務省か通商局か或は又その道の人などについてよく調べた上に向ふへ行つて直ぐ話せる



迄に英語を熟達しておき人情風俗にも通じてシカゴ、ニューヨーク邊へ入る積りて行く事が得である。

その道に通じて廣告と云ふ事を研究して行つたなら相應に面白い職業であらう、米國でも日本人の未だ手の届かぬ所もあれば大に勇進されたいもの、經濟的に米國と交渉して利源を開發する必要あり米人とても亦日本へその商品を紹介するものなど中々前途もある事なればこの方面へ突進するのは決して危険な事ではない却てこゝに言つておくのは此方の約束を確實に守りさへすれば向ふでは無論の事萬一家庭が亂暴な人間でも商業道德となると不思議なほどよく守つて行く、この點は日本人の非常に劣る所である。

### 種牛及び乳牛買入れの爲め渡米する人に

大して今では景氣が好いと云ふ程でなくとも愛光社角倉君のやうに乳牛を度々買ひ入れて來ては大層利益を得た人ありその外にはよくちよいと見受けられるので金の有る人などで態々買ひに渡る者もあるやうだ、日本では二百三百時として四百圓にも賣れるものが彼地では五十弗で求められるそれも比較にならぬ程立派なので自分で行つたり人を遣つたりしてゐる牛屋もあのである、これが何れの時迄持續されるかも知れないが彼地の牛は日本のそれと比較しては良くつて値が安いに極つてゐるから買ひ入れに出かけやうとする人は一と通り抜け目ない用意しておく可きである、記者が或人に紹介状をやつたら乗つて行つた船ですぐ用達し濟みの上歸つた人さへある、向ふで一ヶ月二ヶ月滞在してゐるよりは斯うして行く場所を豫め決定しておき一ヶ所位で話しがまとまつて歸らるなら都合のよいのは至當である、彼所で三頭此所で三頭と云ふ様にするのは愚かな事である又、



成るだけ近い所がよい、ウイスマンシンの方はヨイ事はヨイだらうがそんなに奥の方へ行つては費用が入つて仕様がなない運送の賃金も考へなければいかず「郵船」で来るのはシャトルからで同じにしても汽車の費用もある、海の荒れない時期も考へる、冬になればシャトル横濱間は七八十尺餘りの波がたつのでこれに牛を乗せて歸るのは監督するも難しい、又牛の方でも大分衰弱する、成る可くは氣候の好い時、それから港からは遠くない旅宿にゐて求めたがよい、この乳牛に關しては米國に行つても日本人は余り知つてゐない、ポートランドの伴さん、シャトルは山岡君が解つてゐる位で誰れでもよく知つてゐる譯でないからそこへ行つてから紹介狀を貰ふより此方で農商務省にでも聞き合せ十分交渉を重ねておいてから氣候の好い時行くやうにするがよいのである此買入れはみな利益を得てゐる、日本の稜まがさは米國のよりも悪い、米國のは乾いて質も好いが日本のはすつと落ちてくる

であるから日本へ歸つて、牛も悪くなる、氣候の變化もある爲だらう色々考へてから始めねばならぬ、一頭五十弗、運賃の五十圓位かゝるそれが日本では二百圓三百圓時としては一千圓にもなる割となるのだから、殺したりなどしては大變な損失である、渡米前の交渉に遺漏なく注意が第一である。

乳牛の改良は日本人の健康に非常な關係があること故日本牛の結核的の弱いものを退治し、米國の極く悪い方でもよい日本の牛よりは良質なのを集めて来て改良する必要あり、現今日本の牛で澤山ある種類の改良が大切であるから牛乳者たる者は國家の爲奮發し良質の牛を買入れるは自己のため延ひて日本人體格改良のため、百年の計を立て、から着手する事にした、金の利く人は向ふへ行つて買入れて来た方がよし北海道では道廳の手に一とまじめに買つて来てくれるそうだが矢張り當事者が直接行つて買つ



た方が遺憾ないし又愉快でもある、それも頭数の多くなる程値も安くなるのだから盛んにやつて此事業の發展に資する所あらしめたい。

### 新聞事業研究の爲めの新聞記者の渡米

米國の或新聞雜誌を研究する目的で渡米した人は澤山もないが僅か數名は記憶してゐる、元の二六の小野瀨不二人氏の如き大阪毎日その他からも渡米した、多少その方の研究の結果如何であつたか、小野瀨氏の如きは四ヶ年八ヶ月の間四年は米國でその事の研究に盡瘁された、氏は何もかも一切に亘つて調べられたので糊の付け方迄研究した、充分その中に入つては難儀を嘗めたらしい、その事業には種々な式といふものがある、譬へば日本の萬朝式、時事新報式、朝日式といふ様なもの、小野瀨君のはハースト式のエキザミナの方式を重に學ばれた様である、其方式は却て参考になる

事が多いには相違ないが日本で直接持つて来て直ぐに活用出来るか如何かは問題である、小野瀨君出發の時は幹旋の勞をもとつたが歸られてからの應用は奈何、譬へば批評欄を最後の頁にまわした如きこれは日本の通俗新聞二六紙の如きものは一寸考へなくてはならぬ點がありはすまいか、親しく視て来てからそれを活用せしめ得る程度の如何が問題である、米國ではこれは大仕掛けであるか故新聞に限らず洗濯、肉類の罐詰その他何事でも押して知る可きで、これをそのまま日本へ持つて歸ると云ふ事は問題である。若し此米國新聞の遣り方など視察する積りならば暫時太平洋沿岸の邦字新聞社に足を留めてゐるもよしこれも十數種もあり、別に稽古になると云ふ程でもないが可なり、もう大陸的で米國式となつてゐるこれに入れば何つれ三十弗四十弗の月給を貰つてやつて行ける、そうしてゐる傍在米同胞の状態の解かる位置を占めもし英語が自由ならば米人の状態をも理解す



る好位置を得る事となる、新しくしてその市の白人の新聞を見ならひ雑誌を研究し又次の市に行き何故如斯發達するやその經濟如何、廣告は奈何とか云ふ様にその原理を究明して行く、すればそのまゝ轉用せざるまでも日本へはその根本の所を捉へて應用する利あり又それから又地方へ行き大新聞社に入り、かくして、漸く其歩を進めて行けば根本原理が會得出來たならばその原理と變つてその精神を有つて日本へ戻つて來る、その内には自然英文の論説をも書く事も出来るやうにもなるとすれば前途有望の記者の資格がつく、今後の日米問題の論者はその人の雙肩にかゝり國家の興廢の上に一指を加ふる事も出來、國民もその手腕を信頼するに至る、其豫算から最初は邦字新聞、それから白人の新聞、小より大にとそれ／＼研究して進むその結果は國家のためにも貢獻なし得る人にもなるであらう、將來有力な記者とならんとするにはどうしても英文記者ではあるまいか、生命の長い

記者たらむとする人は是非米國に渡り大分こゝ位迄漕ぎつけければ男子としても有數な人士となるであらう、現に日本では誰れか英文記者をして令名あるか、頭本君の如きがその覇を稱し、英文通信では望月小太郎氏に過ぎない、この時に當りこの方面に突進するのは大志ある青年の爲甲斐ある職業の一つであらう、彼のニューヨークに於て發行する東洋經濟新報の如きは頭本氏主幹として馬場氏等の之を助けてやつた如きは至つて小事業の様であるけれどもこの影響は偉大なもので、議論の要點はこれでも發表も出來る、その多大の資金は日本官民が出資したのであるが、政論を動かしたのは少い事では無い、この小新聞雑誌でも、日米人の間を互に理解せしむるのも英文で書くからの事、ジャバングゼット、ジャバンメール、アドバタイザ―神戸コロニクルの如きは案外小形のもので部數も少いが、日本の當局者の如きも、その議論の淵源如何と氣を留めるは、これ亦英文で



記され、その紙が何れへ行き、如何なる問題を引起すやも知れぬからの事  
日本の新聞の如きも世界中に行きつゝはあるが、日本文字が、在外の日本  
人が讀む事故、英文の如くたとへ肝要なことでも、世界の人を刺激しない、  
翻譯して出しても誰も彼も見ないのでその程度が鋭くなく、ところが英文  
にかけば日本の武士道と云ふ事が世界中に知れ、英文でかの柔術と云ふ事  
が解される、而して遂に米國人が之れに心酔して、大統領初めこれを稽古  
するやうにさへなる、東郷、大山と英文で度々書かれた爲、世界にその名  
知られ馬丁や俵夫やに至るまで之れを知らぬもの無きに至つた、その世界  
中に通するところの、勢力を持つて日本に臨む時は、日本を動かす事も容  
易である、されば米國の行り方を研究すると共に英文で論文を自由自在に  
書き得ることを練習する爲、シカゴ、ニューヨーク等に行つて學ぶ要あり、  
英佛に學ぶもよいが、日本は新進國故、積極的、進取的、殖民的の米風を

眞似たなら、日本の今後の社會に適當した事と思ふ。

### 日本茶を販賣せんとする人に告ぐ

茶は日本の物産中海外に輸出さるゝ主要なるものゝ一つである、日本茶  
の販賣人はその賣れ方の如何に頓着せず奮つてその販路の擴張に務むる  
のは苟くも日米貿易に志ある者のまさに試む可き點であらう、然るに日本  
茶が米國等に賣れ始めたのは六十年以降で可なり古い歴史を有つてゐる、  
随つてその地盤もすでに鞏固を加へてゐる次第である、されば近來の地盤  
に立脚して更に四方に其の手を擴め有終の業を爲す覺悟がなくてはならぬ  
農商務省でも海外販路擴張には至つて苦勞してゐる體である、日本茶の中  
央茶業組合の役員なども等しく配慮に抜かりがない様だ、これは是非と  
も吾が國、日米貿易の前途に志ある者の決して忽諾に附す可きではない、殊



に渡米者の如きは出来る丈競つて此業に従事する事にせねばなるまい、況んや日本茶販賣に従事した人の成績を聞くに持久の念に富める者は其効驗著しく其茶も益々擴がつて行くをや、それで此日本茶行商を望む人は中學或は甲種商業學校卒業以上の教育あり普通商法の心得あり英語も兎にかく間に合ひ品性に缺點なく米人に信用されるといふ素質、信念を有し極く忍耐力の強い人ならば確かに成功するに違ひない、日本人では今迄に隨分成功したと云はれる人もそう澤山もないが數名ばかり所々に見受けられる、それはデトロイトの高橋君クリブランドの丹下君シカゴの日本商會の竹村秀夫君等で其れ程でない迄の者を合はせるとまだ澤山ある、日本茶販賣と云つても強ちそれ切りではない、コーリー紅茶等も交せて賣る、先づ日本茶を飲む所が市にて一定してゐるのだから日本茶を呑み慣れた方面に立ち廻はれば着々賣れて行く向の所何の市に行つても得意が出来るかは疑問であ

る今紅茶を呑みつけた所へ出掛けて急に綠茶に換へさせやうとしても一寸難しい、然し今の支那の紅茶の花客及び日本茶を浸害したセイロン茶の遣り方を見ても今迄呑んでゐた茶に類似したものを賣つて段々花客を取つてゐる卒然他の茶を強ひるといふ事は無法である、漸次に慣らして行くその手加減を巧妙に利用する、さう慣らしたなら今迄紅茶を呑んでゐた人に綠茶を呑ます事も敢て至難の事ではなからう、そこで今のセイロン茶は廣告に贅をやり支那の紅茶、日本の綠茶、何れも其地盤を蠶食され吾が日本茶の千二百萬圓の輸出茶が減少の前兆あるは由々敷大事である、國民としてからこれを默視する譯にはいかない、大した損害でもないのだが今の内から覺醒してセイロン茶が熱心に販路を拓ひて行くやうに今でも凜々しい武者振りで陣頭に立ち外國茶を千里の外に驅逐して了ふ意氣がなくては誠に心細い、然るに當業者は睡眠の状態に在り、青年渡米者は平和の戰士とし



て此方向に其勇を示したらよからう、これはクック、スクールボーイ等よりも忍耐と活動とを要す安閑としてはゐられないのだ、が一定の都市に行き殊に緑茶を呑み慣れた町に入れば一日一軒位の得意はとれぬ事はなからうと思ふ、で三年経ては約千戸も出来る千戸ありとすれば二萬弗内外の収入はある、其利益は半分として一萬弗になる、忍耐力を鼓舞してやれば先輩は成功してゐるのだから後輩だからと云つて何も成功せぬといふ規約もない、で並以上の辛抱心があれば少なくとも成功の端緒を開かれる、米國に年一萬二萬の金儲けは中々難しいけれど茶の販賣なら一年に一萬弗即ち二萬圓その半分と見て一萬圓又その半分と見ても五千圓は儲かる、移民の是迄の成績は一年五百圓位の平均しかとれなかつた最も身體の健康状態の如何にもよるか他の職業では到底これだけの利潤は見られはしない、これも三年かゝつて小なりにも成功すると思へば又茶業前途のため別に損の行く

仕事でもあるまいが、勿論この様な白人相手の小賣をするには此方に於て相當の修養を要するのは言を俟たない、いくら先輩がかくして一年一萬二萬の利を得たとしても眞逆些の修養なく準備なくして牡丹餅で頬邊を叩かれるやうなそう甘い調子に行かぬは知れた事である、資格を作る第一はキリスト信者となり信仰によれる諸道徳を遵守し精神修養を怠らず、忍耐元氣快活、希望それ等の美德一切を修めてその上に語學、簿記、タイプライター若しくは西洋の人情風俗茶の鑑定法等を研究し夙起の習慣、歩行の習慣をつけ、身體を運動しても左程疲れぬ様にするとかは皆大切な修養である、これ等の必要な準備をやらすに行けば大抵は普通の人と共に失敗を味はされる茶業がよいそうだ、これに儲るなど徒らに人の眞似したからつてそれで先輩の如く成功するものでないのは極つてゐる、獨り此方法が成功の捷路であると云ふ譯でもないけれど唯總ての仕事より割合が好いと云



ふに過ぎない、けれど日米貿易に従事せんとする日本人には比較的適した仕事だと思ふ。

著者は不肖なれど如斯青年の養成に務め日米實業學校を設立し希望者を收容して育成に盡力してゐるが最早渡米一年で成功の段階を上つた者さへある、此資格を作らんとしてゐる人、已に渡米しつゝある人も尠なくはない、若し實業のため一生の運命を試みんとする諸士は來り學ぶもよからう向ふへは紹介もしてやる、よし多少の難儀が起つても茶業のため奮闘するのであるからどうせ米國に行つて仕事でもやらうと決心する位なら中途で挫折する様な事では仕方がない、固よりそれ以下容易な仕事もある大資本さへあれば儲かる仕事も見當るであらうけれど、これが小資本でやれるし又資金なしとも先輩の下に賣子となればよいのだ卸し問屋より受け取りで始めてもこれからは腕次第、一日一軒と限らず二軒五軒出来るなら得意客

を増すのに否やはない三年のところを一年でもどうやら地位を作れる、記者の下に養成した三人の青年の如きは一日に十軒から十五軒宛もつて一年目には主人から獨立してやつてゐる、その人の熱心と忍耐とに比例して年數の差等を來す事なれば早くも遅くもやり方一つである。

海外に行つて日本輸出品の増加を計り、自分にも利す所多く移民問題で紛議を呼びその爲め日米關係に陰影と投じてゐる時に際して寧ろ人間よりも物質を送る方好かるべければ此様な忍耐家が一年二萬弗即四萬の商賣とやつてくれるなら移民として行つた人が一年かゝつて可なり成功した者にしろ五百圓位送る人が澤山行くよりは此茶商の方が充分の益あるは知れた事單に利益あるばかりでなく物質も輸出される、一舉兩得とはこれを指すのであらう、これは必しも茶に限らず自由に此方面に突進せられよ、記者の如きは此事業に興味を有ち米國有數の各地に日本茶を賣りたいと種々思



つてゐる、今では空想の様なれど忍耐して近い未來には現今の輸出の三倍  
四倍にして見せる所存である。

各自奮闘せずに空想呼ばりは、駄目であるやつて出來ない事はない、日本  
商人は稍々もすると直ぐにこの空想呼ばりに一笑に附して了ふ獨逸人は何  
處までもちり／＼進んで行く、獨逸人と日本人と何方がよく奮闘をして克  
つか斃れる迄猛進すべし、殊に青年殊に渡米せんとする青年の休息は只奮  
闘の二字而已、永久生命あり、不斷の希望を追ふて行け、その斃れたる所を  
墓地なりと思へ、此氣慨あらば國運の隆盛期して待つべきである。

### 最も給料の多い米國の各地は何れ

若し何をやつても、何處へ行つても、世界中金の取れる所なら行つて無  
暗矢鏢に金ためたい人は何れに行く可きか、何が何んでも金が取れさへす

ればよい、勿論盜賊でないといふやうな物では時々聞く。

著者も亦その大各地を一生懸命に調査し世上の種類の人を實地物の報道  
をせん事を始終希望してゐるものである、各地に手紙をやつて給料の現状  
を聞いて見た、所で世界中何れの地より北米は給料の高い所である事が明  
かに知れた、そのうちで最も何れの地が一番給料が取れるかと研究して見  
ると、コロンダイク地方が殊にその中心なるドールンシチー及び、米領ア  
ラスカのベーリング海峡の濱なるサワードー半島の一大都會なるノームが最  
も多く金が取れると知れた。

而して、其一日の幾らの収入か、一ヶ月幾らかと云ふと、一日三弗から  
五弗、即ち月に百弗から百五十弗位は得られる事を確めた。

最もその地方は寒い事故身體の虚弱の人は不向きであるが、大概の人は  
行けば働かれる、呼吸器に異状でもなければ差し支へないらしい、日本人



は此地方には餘り行つてゐない、兩地何れの方とも三十名内外である。行くとしても、さう大して金のかゝる所でないし、日數もさう要しない。どうせ金を得る専門なら、無藝でも、此様な地方へ行くはよい事だらうと思ふ。

であるから凡そ米國と云つて、何所でも金の取れる所へゆくがよい、調べればいくらか金の取れる所があらう、商賣にしても同じで、色々調査した上にされたい、同じ労働、同じ資本でより多い収入のある所、より多い利益のある商賣に従事するは考ある青年の執る可き道であると思ふ。

## 日 米 問 題

日米問題と云ふのは随分廣い問題である、一葦帯水の對岸で五十年前即嘉永六年ペルリが始めてこの國長夜の睡りを醒ましてから米國は日本にと

つて忘れ難い恩人にして有難く見做して居られる、結果がそうなしたものは多少感謝しても悪い筈はない元來東洋に航海するに當り炭水の供給には是非日本開港の必要を感じたのが日本開國の動機となつたその時の大統領フキルモアと云ふ人は至極平和な人なので戦争にならずに濟んだがペルリの日記を讀むと琉球を略取しやうと一生懸命に努めてゐたのを見ると炭水の供給される以上、これを米領にしたら好からうと少くともペルリは考へてゐた、其時若し大統領に野心などあつたならば日米戦争になつたかも知れなかつた、フキルモアは平和の人であつたがため何事もなくして濟んだ譯である、それ以來平和に交際してゐる故日本でも喧嘩は誰れもしたくはない米國として東洋市場の信用も得たいし其門衝に覇を唱へてゐる日本に惡まれ或は敵視されて睨み合ひするのは好まない、必ず日本に好意を表し其感情を害したくはないと思つてゐる日本から見ても米國に



は一億五千萬の生糸うち一億五千萬は米國に茶は千二百萬メリケン粉は米國から日本へ米の不足を補ふ間接の働きとして輸入し居り綿も澤山米國から来る、その他の雜貨類と合せると彼我の貿易總額は大したものであるかゝる間柄の事なれば日米共戦争を回避するのは理正に然るべしであらう、故に識者は此所に決して日米戦争の始る筈なきを知り、平和の歩を進め互に實業團體を送り迎へ又彼のルーズベルトの時に世界漫遊の米國大西洋艦隊に對しては極めて特殊の歡待をした譯である、又先方よりも快よく應じて到來したと云ふ工合になつてゐるからはこの忌はしい日米戦争などおくびにも兩國間に實顯する事なきを望むのは一目瞭然の事である、併し加州或はオレゴン、ワシントン州などの人々が此の日本人の移民移住入國に就いて幾多の恐れを抱いてゐる、そして如斯劣等の日本國民は米國を毒する事なれば其上陸を拒絶すべしと種々の運動起り或程度まで地方權を認めて

行かねばならぬ國柄の米國では全くそれを非認して同情せぬ譯に行かず由來合衆國は中央政府の權力も地方政府の權力と互に機會さへあらは擴張せんと汲々としてゐるのでルーズベルトの時は中央集中權を強固にせんとして合衆國民か日本人に對する排日運動の場合に大統領か中央政府の主權を以て防遏しやうとし却つて排日問題の火の手を各州に蔓延させたのは此際加州の權力が減退したと云つては我々も同じ運命とあつて各全州に少なからず影響する所から、其ために外の各州まで騒ぎ立て結局大統領の遣り口か最良の引倒しとなつた如き觀かあつた、斯く中央政府は平和を希望するも地方各州の民論に壓迫せられ日本政府と心にも無い交渉を開かねばならぬ場合も少なくはない、これは米國の國法が改正されぬうちはこれを如何ともする事出来ない、かりに或外國か米の一州に一旦損害を加へた理由から賠償を要求する時其地方政府で拂はず其尻を中央政府が拭つた例がある



ので米國の此中央權と地方權の解釋は未だ圓滿に解決が出来て居らぬと云つてもよい有様である。

これは例の少ない方だか、でもこれはその儘として地方の關係で持て餘し中央も動かされるものと見て米國全體の人士かそう仕向けたくない件まで一州の爲めになす遣り方に同意せねばならぬ事もある、歐洲殊に南歐の不規律な無政府黨或は乞食の如き伊人、ハンガリー人の容易に入國出来るに獨り日本人に限り行かんとして障害の續出あり、行つてから幾年経つても市民權を與へぬ様になつて居るのはキリスト教國としては不似合千萬の事ではないか、決して身分不相應の事を希願するのではない唯、一國民として歐洲一般と同じだけの權利を與へられたいに過ぎないのだ、市民權を彼等にあたふるとすれば日本人だつて矢張りそれを得たいのに論がない、すれは數の制限なしに入國か出来るのだから外の國民に與へられた位の自由

權利を惜んでおくと云ふはどうしても頗る不都合の至り、この議論も大分日本にもあるがそれは傾聴に値せぬ譯でもない、然るに一方反省すれば日本國民は随分米國人側から見劣等だと思はれる種子を蒔いてゐる、自分の國の流義を臆面なく異つた國に行つて自由に西洋人の嫌惡するのも構はずやり散らしてゐる、それでは西洋人の眼から同化しない様な事が實際にある、従つてその國民の輕蔑を招くやうでは誠に困るとの攻撃の材料を與へつゝある、日米問題を惹き起すものは在米日本人の内にあるのだと唱ふる人も出来て来た、西洋人に了解され彼等に尊重される様に持ち込んで行つたら好からうではないか、西洋人の尊ぶものを尊び、禮拜してゐるものををがみ、良きをよしとすれば日本人をも愛してくれる筈である、こゝに假りに日本に來た支那人が少しも日本人に對して同化せず金を貯めて歸れば奈何であらう、何時か九州の或地方に支那人が少し來てゐた時これを排斥



したではないか、それ故、米人に不愉快を常に與へては態々排日の材料を拵へてゐるやうな眞似は止したがよい、米人と同感同情を持つて行くやうにすれば好いではないかと云ふ平和主義の人もある、兩方とも立派な議論である、一方は日本人の権利を主張すると同時に彼等に容れられる様に深く反省して尊敬の度を増す事、かく兩方をとつたがよい、一方立派にしさへすれば米人が尊敬すると云つて徒らにそれと期待するぎりでは駄目である、議論で権利を叫んだだけでも無駄な事である、排日と云ふ如きは或時運に觸接して發生するので恰度職業問題労働問題の紛擾してゐる所へどしく無數な日本人が入國したのは夫婦喧嘩の眞最中に尙ほその夫婦を酷くするやうな事を持ち込んだ様なもの、これは理窟以外から來てもゐる、米人も日本人も互に至極最もな事であると承服する迄に持ちかけて行きさへすれば難しくなつても解決される問題に過ぎない、日米問題か平和に解決すれ

ば米國のためは勿論日本人の經濟の方面からその他諸方面から得る所莫大なものであるから兩國各々慎重な態度を持してその禍源を平和解決に努めねばならぬのは世界文明の上から打算して何人も認識すべき點であらう。

### 日米問題と婦人渡米

日米問題を解決する事は吾か國の識者及び在米同胞の等しく焦眉の急務を感じてゐる所である、日米問題解決の意義とは奈何一括して云へば平和的に日本人が自由に米國全體に亘つて發展なし得る日に到れば、現今の日米問題は已に解釋されたものである、併し昨今の所では移民問題、その他の問題など障害が頻繁なので残念ながら瀆茫の前途嘆を發せざるを得ないそれで日本民族は米國に於て意の如き發展が絶望となつてゐる、その由來する所を察知すれば十分米國に對して同情を有たねばならぬ事もあり或は



彼地の労働者の反抗もあり黒人種以外幾多の人種問題がこれ迄は米國に苦い經驗を嘗めさせたものであつた。その後から東洋人がどしどし侵入して行くに就いて、は配慮の種も無理ならず、だか日本人よりも遙か劣等の歐洲人が續々入國してゐる、一年中には百四五十萬宛も増加してゐるのに比して日本人は一萬にも足らず僅か五六千位しか這入れぬ譯である、そして是等下等な移民より劣惡な待遇を受け、のみならず米國に最も必要な市民權は與へられない、何も日本人だつて決して過當な請求などするのではな  
いが、せめて歐洲の移民と等しい位の取扱ひは受けたいものと切望してゐるのだ、一等國と云はれてゐる日本か彼の伊太利、オーストリー、ポルトガルなどと同じく取扱はれるさへも忍び難いもの況んやそれらよりも下等の取扱を受けつゝあるをや少しく其間の消息に通じた者は將に蹴起して權利を米國に強請せよと唱導する者の日本人中にあるは強ち過激とは言ひな

い、米國だつて優に大國を擁してゐるものなれば日本の便利のためのみでその意志を枉げる事も出来まい、で事實に於て徐ろに彼等を納得せしむるに至らねば今後何年経つても依然日本の正當要求は原形の儘に残遺され末には軍艦の力を待つ事となる、で日本は其歸着する所に迷わずその難所は已に眼前に現はれた來た、日露戦争にて蒙つた打撃これが轉じて日米戦争となれば猶の事、經濟的に一層の慘事を極むるであらう、故にどうしても平和的に解決せねばならぬ、それは色々と紛糾してゐる困難のこともあるが十分に研究すれば案外單純なものである。

米國は法治國にして普通選舉の國柄也故にこれにて能くその國の政治を左右する事が出来る、吾人も亦この選舉權を獲得しさへすれば好いのだがらして其根底は畢竟市民權を得れば別に何の苦情もなくなるのだその市民權は今では新しい歸化手續方法に依るも日本人は市民權を得ることが叶は



なくなつてゐる、これが満足に得さへすれば自然問題は順よく決定するのだ、こゝに市民権を得る唯一の方法がある。それは日本人夫婦が彼地で子供を産みその子供を先方の役所に届出づる、かうなるとその子は前章に述べた通りネーテープソンとして當然市民権を所有し男子なら二十年の後は立派に選挙権を持たれこれを得ればその州の選挙は國會議員にも大統領の選挙をも左右する力がある、布哇は昨年未迄日本人が合計八萬餘で年々産れて行く子供が三千四千の間に至る、それ等か悉く米國市民となれるのだ、それ故布哇に特別の取扱を受けぬ限りは毎年日本人で市民権ある人が恐ろしく増加して行く、全島十五萬その内八萬の日本人それに年々三四千宛殖えて行く是れは日本として考れば愉快な事に違ひない、其様に太平洋沿岸に於ても日本婦人がどしどし渡米して子供を産む事になれば現今の國法の革らぬ限りは日本人で市民権を有つものが多數となる、現に昨年は

加州一州で一年の日本人の産兒三百八人餘からあつた、これからも随分日本婦人が渡米し氣候の好適な地方へ行つて繁殖するがよい、日本婦人が渡米する内は子供の減退する憂はない、これが日米問題解決の最善の遣り方である、少なくとも今の處では。

米國にしても日本人が永住して働くとなれば米國のためにもなる事故喜んで迎へるであらう日本の立場から云つてもよし米人になつたとしてもそれが日本の不利ではない、伊太利人が米人になつて居るが故に伊太利人に對する慘酷の取扱ひに十分反對してゐる。佛人は又佛人に對して權利を主張してやる、いくら米人となつたからとて己れの出た家郷を忘却する者でない一旦事あり米國旗の下に日本人と戦争するとしても日本人に對しては充分好意を表しこれを排斥するが如き事の無いのは明白な事であるこれを合衆國全體に於て見ることが出来る我國人種がこれを示してもゐる黑人種



が自由に移民されるのも四百五十萬の黒人がゐるので流石のルーズベルトさへも黒人出のブーカール、ワシントンを見引して食卓を共にしたとて多くの國人から非難された程で、これ等から云つても在米同胞の家庭を持つのは非常に緊要な問題である。

吾人はこゝに見る所ありて、三年前よりして力行女學校なるものを設立して之れ渡米志願の婦人の教育を爲す可く前述の如き主旨の下に實行なしつゝあり。此主旨書を携え渡米の上太平洋沿岸巡廻の際、在米同胞の重なる人に示せしに、一人として反對するもの無きのみか、大いに此學校の大切なることを證言せられた、時勢の然らしむるところ、婦人の渡米は勢ひ増加するものと思ふが、教育無き婦人を送るのは、同胞間も徒に混雜と苦痛を與へるのみであるので、相應に教育して送るの必要は勿論明白な事である。

### 力行女學校設立主意

我が國の人口五千萬にして年々増加する所の人口五十餘萬と稱し而して我が國の産業は之に添はず月々歳々一村一町に於て倒産者を生じ貧富の懸隔をして益甚しからしめ國家の前途を思ふ時は轉た憂慮に堪へざるものにして止まらざるは識者を待たずして明かなるものあり、之を救はんとせば内に舉國一致勤儉力行して産業を修め孜孜として其富を増さん事を心掛くると共に外に我國民を有利有望の地に移民せしめて海外より現金を吸収すると共に航海貿易の業を發達せしめて富を外より輸入するの捷徑なるを知らざるものなし。

我日米問題の起りしは十數年前にありて當時の性質は唯單に地方勞働問題たりしが歲月進むに従ひ今や其問題たる米に於ては政治的問題たり我國



に於ては經濟的問題なり。

今や我國に於て若しこれ自由自在に米大陸太平洋沿岸に我大和民族を移住せしむる事を得ば我國の富は俄然として増加するものあるは此れ頗る明かなる事實にして現に十萬近くの我大和民族が太平洋沿岸に活動する結果として年々一千數百餘萬圓の現金を我國に送りて我は恰も米國に二億萬餘圓の債權を有するが如き關係たらしめつゝあるは已に普く知らるゝ事實なり、更に今より十倍の大和民族を彼地に送りて自由自在に活動せしむるを得ば我は二十餘億萬圓の債權を米國に有するものとなるべし況んや事情かくの如くに進まば我航海と貿易の業大に進みて殆んど三十有億萬の債權を米國に有するものと同じかるべし大和民族の發展かくの如く進みなば我が富の増加する我國民の豊なる到底今日の英國に及ばすと雖も尙我が國民の倒れんとする部類の人々を貧より救ふて余りある事となるべし更に我民族

が追次に多數米土に移住するに到らば此の移住の一事を以てしても我國を貧より救ひ富國の實を擧ぐる事は敢て難からざるものあるに至るべし。

日米問題の解決夫れかくの如くに我國の經濟上に大關係を有するが故に外務當局の人並に識者の之を重大視するは誠に所以ありと云ふべし「願くば平和的に經濟上の損害なくして之を解決するを得ん」と今や殆んど我移民の渡米するを禁止し僅かに少數の日本人を彼の地に送り居るのみにして歸朝する所の人更に多く漸次我國民は米土に跡を絶つに到らんも知るべからず。

されば我國の識者の之を解決せんと企つるもの實際に奔走するもの多きに係らず別に良策なくして殆んど今や頼み少なき或る時機を期待するか如し。

然れども之を根本的に解釋して我大和民族をして米國に其政治上、道德



上、經濟上の基礎を樹立せしむるの良法あり即ち在米十萬の同胞に我が女子を送りて其内助者たらしむるの方法これなり。

在米十萬の同胞の歸心如矢は一は慰藉者のなきによりて來る、男兒萬里異郷に在りて大業をなす慰藉者を要する事なきが如しと雖もしかも大に此の慰藉者を要するものあるは實際の事實にして余輩の毎年渡米巡迴親しく視察する所なり泰西文明國の植民に其家庭を擧げて殖民せしむる所以のものは實に此れ人生必然の事實あるか爲なりとす。

しかのみならず我大和民族が自由自在に發展するの根底的解釋は其市民權を得るにあり其之れを得んとせば我在米同胞には他に一の良法ある事なし、米國の國法は我日本人の歸化する事を明かに拒絶するの明文を掲げずとも彼國の新歸化法によるも日本人は歸化するの權利なきものとなれり、我日本人が歸化して米國市民となるの早道にして必ず出來得る道は唯在米

同胞に内助者を送りて子女を彼等に於て産ましむるにあるのみ彼土に於いて産れたる日本人の子女は生れながらにして米國市民なりされば出來得る丈多くの内助者を送りて子女を米土に於て産ましめざるべからず生れたる男子は丁年に及び輿論及び選舉を左右する所のものとなる此選舉權を有する日本人が多數なるに於ては彼等が如何に盲助すとも日本人を排斥する事能はざるに到るは吾人は在米伊太利人に於て見るが如し仄かにきく所に依れば我當局者は此種の二十年計畫をなせりと果して然らばこは實に大和民族の米國に發展して我國の貧を救ふの最良の方法なりとす吾人が四十年十一月三日より力行女學校なるものを設立して在米同胞の内助者を教育して適當の機關と適當の方法とにより彼等を米國に送るの微意蓋し之にあるものにして在米同胞にとりては目下の必要なる事件にして日米問題根本的の解釋なり又同時に殖民によりて我國を貧より救ふ所以の道なりとす。



苟も我國の經濟事情と百年の大計を思ひ日米問題を根本的に解釋せんとする人も必ず我力行女學校設立の大主意に賛成せらるゝ事を信じて少しも疑はざる所なりとす。

### 獨身婦人の渡米

生活問題も追ひ／＼切迫するに連れ婦人の渡米も却々盛んになつて來た是より先き日本の婦人も時代の思潮に感亂されて漸く覺醒の色が現はれ出した、獨立して食ふ道を拓かなければ困るといふ獨立の精神が發達して従つて此形勢に應じた職業學校などが續々設立されるやうになつた裁縫、編物、料理、家政などの學科が多くの入學者を招き寄せた、けれどもこれを卒業して見た所で社會はこれ等就職者に對して徒らに怨嗟の源となり易い傾きがあつた秦文學士の主監した某シンガポール・ミン学校などは三階の十五間四

方もある建物を立て、生徒も四百人程あつたが卒業した曉雇口の案外少なかつた例もある、それと等しく技藝學校、裁縫學校等何れも皆食ふだけの働きが出来ない實際百人の内十四五人しか役に立たぬ割である、で此の女子の技藝裁縫學校は實科高等女學校として僅かにその殘骸を止めるだけで著しく衰退して了つた、けれども一方パン問題の壓迫はしばしも止む時なはいよいよ加はり來つてどうも防遏する事が出来ない、それで女子獨立生活の氣連に乗せんと努めても折角修めた職業ではその生計を補助する事の難しいと知るに到つた、少しく一般の人士よりは奇抜の考へある人などはこゝに海外發展を思ひ付きその方面へ新たに求めて得ざる婦人の耳目を集中させたこれをその志望者の墮落しない限りは大に好調を呈してゐた、金を澤山送つて寄こすか米の人と任意結婚して幸福な家庭を作つたり又新しい職業に目算を立てるやうになり一部の健康なる婦人をして海外思想を抱



くやうになつた。

婦女の海外發展といふと直ぐに醜業婦と早合點して仕様がなない、そこでどうか醜業婦の渡つて居ない所、そして金にもなる所へ行きたい、斯ういふ風になつて遂に北米とカナダに行き出した、記者が力行女學校を設けて以來三年志願者四五百名に及び、向ふで家庭を作つた人も數十名に達した。頭でだけ空想を放肆にして喜んで居る様な半分病的な婦人は臆面もなく戀愛問題など騒いでゐるが冷靜に理性的に考へてゐる婦人はもう生活問題をその狭まき小さな胸に宿して頻りに考へつゝある、これが海外發展の由つて來る所である、外圍から差したる制肘を受けない範圍に於ては進んで海外に行けば畢竟一舉兩得ともなるのだ、でこの種類には二つあり一つは單獨、一つは結婚である、却説此章にては單獨渡米の方を述べる。高等女學校卒業、女子大學卒業の人で財産の數萬圓もありその上の學科研

のためと言へば旅券も造作なくそれに、家から實際學費金を取り寄せられるならば別に墮落もしない、又、紹介状も至つて確實な人から貰つて行けば間誤付く患もない、併し高等女學校も卒業せず家に資金もなく唯單獨渡米だけ望んで到底駄目の事と知らねばならぬ、それも家庭教師になるとか日本人の大商店とか白人の家とかの女中、嫁母等として許されて行つた人もあるが澤山はないのである單獨渡米は若し家から金がなくて學校にも入いれず、彼地へ行つてからハウス、オークやクックなその口を求め日本人の間などに始終介在してゐると云ふのでは意志の強固な人なら兎に角、でないとい生が誤られやすい、だから當局者も餘程確實な見込みが立たねばどうしても旅券は下附せぬ、特別の場合でなければ教育無き人は徒爾の事と諦めたがよろしい。

以上云つた教育資金もあり經歷もあり行先も正確であるなら直ぐにも許



される、そうでなければ普通の人などは墮落しやすから單獨渡米者は深く反省せねばならぬ又墮落せぬまでもどうして悪い批評や混雑をよびやすく多くの人の注目の的ともなるので、數年は若い婦人の渡米と云ふ事は向ふに相手定めずに渡る事は充分自警しなくてはならぬもの、勿論その彼地に行き正當な所に身をよせて而して正實な事に従ひ人の紹介や交際も自分で拵へて適當な對手を見出して遂に幸福な家庭を作つた人もあるがこれは極く稀れな事である、在米同胞の發展状態を見ると日本での空想とは違つてさうく成功もしてゐず理想的でも何んでも無い、若い時に行つた婦人は寧ろ歸朝して結婚してゐるやうな現象になつてゐる、或人は寫眞結婚を非認し、戀愛の自由を許るせ即ち單獨にて渡米せしめ放つて好きな同志一所にならせよと云ふ、一應理想の上では尤もだが、これが終り迄非難なく通はせるか、婚禮は理想的にも出来るかは疑問である、議論では承知さ

れても實際の上ではどうも未だ許されぬ節に當る、だから記者は先方にて受け入れて教育してくれるが信用ある學校へ行つて直ちに勉學の方法の立つてゐる人でなければ單獨の渡米はその結果が餘りよくないと思ふ故に十分の熟慮を煩はす次第である。

### 結婚して渡米する人へ

結婚して、の意義は即ちその在米の夫からの呼び寄せ狀に依つて渡米する總ての婦人を含有する、曾つて結婚してゐて子供の二三人も産んだ人、家庭の基礎も出來、旅費も送つてよこされたと云ふ、又は寫眞で見合ひを濟せそれで入籍してからその人に呼び寄せられて渡米する所謂寫眞結婚の人寫眞だけに止まらず兩方の両親も知り合ひ本人同士も知つて居て親戚とか朋友學友、同級、友の友人とか云ふ親密の關係ある者が相互の仲介者に



依つて交際し理想も己に解し合つて調査に念を入れ生涯を共にするに足るもので經濟狀態の等しい程度、兎も角揚子で重箱の隅を突くばかり調べその後半年なり一年なり手紙を往來して交際したものに於て寫眞結婚の二層改良せる縁組に依れる婦人の呼び寄せ等の三種である。

その呼び寄せ状には移民、非移民の二つに分つてある、移民の印を捺されたる呼び寄せ状を所持せるものは移民の取り扱で、東京では警視廳の管轄で寫眞、呼び寄せ状、人相書を揃へて願ひ出し當局者に於ては嚴格に調査の上で可と認むる時は出帆の際神奈川縣その他の出帆港からやつと旅券を渡たす、非移民なら旅券は當り前にしても下がる、行くには譯もない、第一種類のかねて結婚した人は行つてからも更に騒動も持ち上がり、變つた事が起らないけれど第二の寫眞結婚が一番危険の多いものだ、その破れた實例がいくらかもありその被害誠に數へ難い程ある、一度人權の蹂躪され

た不運の婦女は一生浮かばれないもの男の方でもその爲には一生を代なしに汚して了ふ事が多い。

寫眞で一切決するなら誰れだつて互に能く寫したものを遣るのはつむじ曲りでない外は人情の至りである、色もわからず肥瘦も背丈も腋香の有無もその他の悪疾なども隠すことが出来る身體の狀態を親しく正確に知悉する事は却て及びもつかない難事である、双方で出来るだけ善い方だけ報告する、その結果としては左なきだに本人等は盛んに空想を馳せやすい、此所に仲媒者口がある、米國へでも行かうと云ふ様な女は虚榮に走りやすい傾向がある。男の方も法螺を吹きたがる、入籍すれば日本では正當な結婚には相違ないけれど精神的には薩張り解り合つてゐない、全く知らない別の人である、これだから桑港シヤトルその他の上陸港に於て時々大悲劇が甲板上で演出される、色の白い好い男と想つてゐたのが其場になつて見



ると、どうして色の黒いシャツが小鼠のやうにコックとやつて来る、いやその醜容には膽を吞まれてしまふ、あれがその男かと思つたなら驚愕して氣が遠くなる、又、男の方でも定めし立派な美人がお出なさると首を延ばし胸に動悸を打たして待ち構へてゐると鼻のひしやげた、反齒の團栗眼のお多福と來たら奇麗な空想を詰めて來た頭が折角ガンとして眼が曇つて了ふ、でも夫の魂消るのはまだよい、花嫁御の膽を潰すのは御愁傷の至り、甲板から下りたくないと我を張つて泣き出す騒ぎどうでも歸ると云ふ奴を無理にも口説いて下船さして自動車などをハズみ込んで連れて行く、さて行くその男の所謂何々會社と云ふ名稱だけ聞えがよく、覗いて見れば餘所の家の床の底の薄す暗がり腰掛が二脚、ベットが一臺それはいやはや言語同斷の厭氣の差した男振り、今更歸らうかと思へば日本での送別會の夜、天國へでも行く如に賞めぞやされた故郷の空、それやこれ思ひ廻はせば強ひて

歸れもされず、と云つてもこの男なら死ぬ程嫌いとなつては、つひまゝよ撮み食ひでもと思ひ直はす段となる、それを此方ではそう來るのを覗き寄つてゐる變挺な男が生きてゐる、夫婦喧嘩の始まり精よく待つてゐる、女の雜用、船賃も出さず他人の呼び寄せた奴を巧みに口説き落し、たらし込んで自分の手に丸めて了ふ方法を拵へてゐる生白い男もある、女は夢中唯怒り抜いた矢先、厭氣が強利いた間際、流石寂しい心を持つてゐるのでこの男の優しさうな言葉に惜し氣もなく首の次ぎなる身體を任かして了ふ、これが新聞などにも載せられる粹な駈落も時にやる、かうなると先きの男も唯晏然として指を啣えてばかりも居られず重ねておいて四つにするなど古風な所作を真似たがるピストルを付け廻はす、搜索廣告を新聞紙上寫真迄も添えて出す、その結果は三人共悲惨な終りを見る様になる。如斯ことこの在米同胞の間に行はれるのは寫真結婚の結果、一時も早くこの恐る



べき弊害を除去する心になる、これを知つてゐる者は誰しも在米同胞に同情してどうか此様な事件の無いやうにと假りにも思はぬ者はないが此寫眞結婚が全く廢止されるかと云ふにこれも亦却々困難な事である、夫は米國に在つて女は日本にゐるのだ、旅券の事もある金もかゝる一旦歸つた上で妻に貰ひ受けその上出かけるとなると千圓乃至二千圓の失費である、殊にこの寫眞結婚は吾が國法には背いてゐないが未成年の少女を婚禮者として上陸させぬと云ふ事件で問題があつたけれどあれは日本は十六歳以上加州では十八歳以上と云ふから六ヶ敷い、それと保證金を積んで許可された實例がある、で向ふでは牧師が式を上げ之れを證明捺印すれば好いのだ、これが甘く行けば此上もないもの、日本の現在の見合ひとした所で見方は大差がない、白い女が結婚の翌朝顔を洗つたら眞黒でお母さんが腰を抜かしたのもある、そして今でも却々圓くは行かないのである、多くの原

因がこの弊害を來たしてゐるからだ、で第三に述べた通り出来るだけ同郷を撰ぶに在る、本人の両親が互に知り合ひ家庭の状態も同じ財産の程度など双方で少しも隠し立てせず顔の色、背の高さ、病氣の事、腋香、トラホーム、虫歯、心臓、淋疾の事など一切正直に打ち明け、これで聊かも解らぬ所なしと迄行つて、これを偽つたら偽つた方の責任となる事にして媒介者は相互の意見を附して矢張り両親も賛成を表し數十月の間交際もして見て互に文通もして居り、偽り無い交はりのまゝ、現在から將來の理想まで宛ら手に取る如く知り合つてから愈々好しと決つたら(悪かつたら勿論別れ)媒介者を入れて父兄も承知し入籍させる、かうなつてから渡米の準備が始まる、英語、料理、ミシン夫の仕事の状況、宗教、人情風俗、など一通り學び上げいよ／＼向ふから呼び寄せ證明が來、一切金もとり旅券も下附され雜費に不自由なく船中の同伴者も得何時何日行くと通知しておいて一



切萬事出來た所で向ふへ行くなら實物見合つても少しも驚く心配はない、それ故人に教へられたり又は懷中から寫眞を出して見比べる要もなく甲板から下りないと泣く事どころが思つたなり好くつて多年の知己に遭遇した思ひをし友人を招ぎ披露會を開き高砂の歌芽出度唱ひ收める、そうなるに勞働も共にやり仕事も遠慮なく言ひ附けられ英語も可なり出來日曜には教會にも行け、西洋人と朝夕の挨拶も差し支へずミンも一寸やれる田舎者の如くみすばらしさを夫は見せられず女も男も外に遊ぶ事なく女も萬里の波濤を越えて來た甲斐あると喜び得られる、日曜の午後でも手を執り連ねて公園などに散歩すれば恰も樂園に遊ぶ思ひがする日本では辛く十圓とれた女も向ふでは三、四十圓も収入があつて殊の外幸福に暮される、これこの第三の方法なら眞の大和民族の基礎も固くなるのだそこで子供でも生れると役所へ届け出てネーチーブソンとなり、生れ乍ら市民權を獲得する、

父母も得られない市民權が手に入るのだ自分の子が市民權を有て土地所有權もある(男子廿歳になれば選舉權もある)カリフォルニヤなどの如く二年毎に土地所爲權の問題やかましく起こりつゝあるもこの子の名義に書き替へておけば何の障りもないのだ記者は在米同胞に此第三の方法で寫眞結婚をなすことを望む、これから日本の教育ある男女の結婚の如く夫婦融和する、神を愛する家庭、人を愛する家庭、この様な家庭はいくら増しても米人は反對しないのみか税金を納めてゐれば米國の富源を開拓してゐるのだから排日を防ぐ最好の方法である、婚姻してネーチーブソンを澤山育てるのは日米問題の諸懸案を容易に解釋するのに非常に都合がよい、さうして婦人を今一層精神的に教育して彼地で家庭を持つに適する様に育成するのは太平洋沿岸の同胞を助ける上に必要なれば身體健強、精神健固の婦人を善導すべく三年前からわが力行女學校は經營されて來た、仲介者も無ければ



ならぬが本人の教育が一番大切でその教育法は米國に家庭を作る際に缺く可らざるものを授けるやう努力してゐる。

日本各縣に渡つて積極的海外發展希望の婦人が集りつゝある、當方でも十分精査して今では已に六十以上の家庭も米國に出來上がった、それが加速度を以て益々増加しつゝある、これも大に國家のため盡す事が出來ると確信して些の疑を有せざるものである。

### 在米同胞後援事業

日米問題は吾か國にとつては特に重大な問題である如く米國にても矢張り同様であるから是れを平和に解釋するのは財政的に日本を半分以上完全な地位に導いたものに云つてよい従つて在米同胞發展の上に就いても周到な注意を拂はぬばならぬ、一寸この問題を最も穩當に解釋するについては

前章に述べたがそれよりも猶更に最新の解釋法としては此在米同胞を後援する諸事業を完成して行かねばならぬ事である在米同胞は殆んど十萬、彼等は赤手空拳を以つて上陸してから本國の扶助なく本國政府の嘉ぶ所ともならず、加ふるに米國政府の同情なく寧ろ排日の騷擾を惹き起し苦楚止む時なく然れど不屈不撓自己の目的のために勞働して漸次發展しつゝあるのはこれ平和の戦士が、平和の戦役に従事せるものと見倣してよい。

日露戦役當時滿韓の野で數十萬の兵士が酷寒暑熱の間に轉戦したのに大した違ひが無い、然るに一時的の戦士に對しては吾が國民が協力一致してこれを慰め其家族をも慰め後顧の憂を断たしめ天下無類の天晴れな行跡を表はしたに拘らず十萬の在米同胞の上には一顧を吝むか如きは甚だ不思議な現象ではないか。偶々議會に人あるも蚊の様な細い聲を出すに過ぎず新聞や雜誌に論せらるゝ事あるも其音調低くして影響幾何でもない。



退いて在米同胞如何と見れば辛烈な迫害を蒙り人道を無視した排日の輿論の内、大悶着の下に立つて着々働いて行く。本國政府は移民禁止は協約に依つて新たに日本移民は少しも送れないので従來同胞相互に發展し合つた事業も微々として不振に陥り協同出資して經營した仕事なども在米同胞の經濟機關、その他の有望な計畫はそれなりに萎縮し了る四五年來の不景氣は又底止するを知らなかつた、十年十五年で築き上げた事業も勢ひ支離滅裂となり一方歸朝する者續出し人氣は地に落ち壯心頓みに衰退して誰れ彼を問はず皆、故郷の空を思出て悉く浮き腰にして了つた。

その時に際し健全な分子が浸々として進んで來る、今後いかに變動が起つても確乎不拔な基礎を据え置かうとしてゐる、これは非常に矛盾した事實である、本國の援助を受くるとなしに四千五百哩の外、異域の内に斯く活動を肆にしてゐるのはよし多數者の非難ありとするも大和民族發展の事

業との上からはどうしても先驅者<sup>パイオニア</sup>貢獻者として仰がねばならぬ、吾等は多少の缺點を閑却して彼等に相應の同情を表はし向後進取發達のため國民擧つて盡力する所あらむ事を希望せずには居られない、本國に在る吾人が崇高な同情を發揮し間接又は直接に盡してゐるを知るに於ては彼等は猶一層の奮發をなし一段の勇氣を振ふ、彼等の心が母國の有識者に認められたかと感歎して悠つくり腰を落付けて事業の上に全心を傾倒するに相違なからう。

然るに米國の問題を精査する者、米國を視察して來た人は徒らに口を尖らし太平洋沿岸のわが同胞を非難し劣等、無賴者、アメゴロと罵り彼等は誠に日米貿易の敵であると迄攻撃の矢を放つに至る、これは全く皮相な觀察で偏屈な叫音である、只一方面のみを觀察したる議論である、それなのに國民はこれらを名論卓説に見、粗忽にこれを信する者あるは一概に嘆かば



しい次第である。

太平洋沿岸にゐる米人すら恐る可き酷論を上下し亂暴不逞な米人の間に往來して空拳で一向に奮闘した事故彼等の些々たる缺點は見逃がす可き筈である、それも政府その他から大金を握つて悠々閑々遊んで歩くとは事變はり貴公子の眼では左様に映つたとしてからどうせ殖民地の事なれば手痛く攻撃すべきでもない、その様な暇で以つてその心を同情に換へ向上發展せしむ可き積極的の後援事業に助力する方遙かに好い見ではあるまいかさうするには彼等に家庭の慰安を供給する必要が何よりも大切である、資金の融通を便宜する彼等に日米間の經濟的連絡をつける事、日米問題を速かに母國に於て解釋し果す事、等には是非肩を入れてやらねばならぬ。彼等は決して金銭許りで慰安を求め得る人でない、今や下等な白人間から幾多の迫害を蒙つて居る、有形無形の攻撃を常に受けてゐる彼等は最もその子

供の教育すべき正當な場所と學校との必要を切實に感じてゐる 土地所有權の安固を欲してゐる、市民權を得ん事を求めてゐる結婚の自由、撰擧權の擧得等總ての施設を米國內に成し得る便宜を要求してゐるのである、以上述べ來たる時は、千態萬様で研究し行けは彼等を扶掖す可き事業は數ふるに遑あらず憂國の人生これを見て慨然之れに従へば彼等の精神上、物質上に感化する影響は奈何であらうこれが動因となり彼等の向上發展に資する所多いのは極めて明白な事實である、將來は男女とも渡米者を精撰の上送りたものだけ共、已に彼の地の者に對して、出来るだけの後援を與へねばならぬ、母國人の援助は彼等の精神の光明である、且つ又向上進歩せる日本人は米人の敬意の的となるに至るは自明の理である、かゝる意見を以て母國の人士が注意を怠らない時は優秀な同胞を許多育成するが如きものである、白人に劣らぬ成功者や家庭も出來随つて米人の感嘆を招くに至



る可きであらふ、財産生命の安固な上にネーチブソンの増加するに於ては新たなる同胞を盛んに送り、日米問題解釋より數年後在米の白人と一様の米風に教育せしめて立派な人格を養へば白人間の信望も激増し諸事懸案の解決も易々たるものとなる、斯くして満足に其前途を見届けてやれば一切の隔意は取り去られ米人は日本人の米國在住を希望する様になるに極つてゐる。十萬の同胞かく頻々として發達し行けば今日の日米問題上一番困難なる移民問題も無事解釋され健全な移民がどしどし行かれる様になる。現今在米同胞後援事業は日米問題解釋の眞骨である日本の名士を度々送り日本人が太平洋沿岸の同胞の状態を明確に調査した上、誰れも彼れも遂に後援するに至らむ事を希望に堪えない義である、著者の如きは一個人としてその事業に着手しつゝあり教育ある婦人を送る事、買物のこと、父母兄弟の世話、子供を送つてやつたり又、引き取つて教育したり、病氣したものも

受け納れ、妻女を送つたり向ふで病氣に罹つた人を收容したり物品を届け月數回慰問品を送りつゝあるもみな吾が本來の主張に副はんか爲めである而して是れ等の事業はもう好効果を示しつゝある世上の識者は記者の事業に一片の同情を寄せると同時に各自々々の問題に着眼して相當の舉に出でられむ事を幾重にも希望す。

尙は繰り返して云ふ、已に米國に在る同胞を後援して益々健全なる發展をなさしむるはこれ日米問題の新解釋法である。

### 再渡米者に告ぐ

再渡米者は大概今では旅券は容易に下附される、一度は再渡米者も難しかつたが今は頗る好くなつた、在米同胞で用事のある人は一旦歸國しても差し支へなく行き得る、それをするにはどうしたらと云ふに米國から歸る



時、在留證明書を貰つて来る、これはそれ／＼シヤトル桑港等の領事館からして貰つて来ればよい、それなのに急ぐ餘りか或は旅券の無い爲めか或は布哇あたりから轉航した爲めか、どうかすると貰はずに来る人有り、これは誠に不心得の事なれば信用ある人に話して旅券の無い理由紛失の譯を語つて證人を立て、貰ふ様にする、此時の事もあればこそ上陸の際に眞面目に七日以内に其地の領事館にも届出をしておき同時に轉居の時は轉居届を出しておくのだ、又旅券の紛失した時も直ぐ其處置をつけておくべきである、斯くして在留證明書を持つて歸れば歸つてから早く其れを以て旅券の出願をしておいて其後に靜かに用達をした方がよい出帆間近になつてついでにか延びたり證明書をなくしたりして困つて居る大陸的新歸朝者が随分あるこれさへあれば難なく下附されるのだ、證明書がなければ中々困難で下附せられない、その爲に度々著者を訪ふた人々もある。

尙一つ話して置く可き事は、之れ等の人が歸朝早々見物をよしにして、先づ其の用事を取り極めることである、用事中殊に結婚の如きは尙更に十分の速力を出して運ばねば、ついでに晩れて萬事に不便を來し易いものである、大方の人は歸朝すると共に久し振りにて歸朝せし事として風物悉く珍しく、親戚故舊に會ふも楽しき爲、夢の如くに二三週間若しくは一ヶ月位は過して仕舞つて豫め定めてきた數ヶ月の一ヶ月を経過した事を氣が付かず、尙又携え來れる金銭をも浪費して巾着の輕さを覺えても未だ目指して來た用事に着手しない有様、時に氣付きし用事に着手して見れば却々思ふ様には抄取らず殊に結婚の如きに至つては忽ちのうちに纏る可く豫想して來たものを纏るが如くにして纏らず、荏苒として日を過すうちに時も過ぎ金も無くなり、米國の農繁の時をも失し、商品の時をも失ひ、色々と不都合を來す爲、こんどは急ぎ出し、三度四度と交渉した結果、帶に短く、樽



に長き妻君をも不承なく乍ら我慢して、横濱埠頭を作り笑ひで、親戚故舊と別れねばなら様になつた人は屢見聞するところである。

日本の事情に通せぬ新歸朝者なら止むを得ぬこととは云へ誠に氣の毒の念に堪えぬものがある、されば横濱に着くや否や、最も必要なる事柄を二三日中に取り極め、迎妻運動ならそれ、商賣の取引ならそれ、總てを一ヶ月位に取り運び、旅券の下附も願ひおき、歸るまでに悠々と餘日のあるやうにして置けば、乗船前に不時の出来事起るも之れに當てまごつかず、餘分の仕事も爲し得て、氣持ちよく再渡米なし得る。

これは迎妻の如きも、在米の時より十分交渉して置いて、只顔を見ればよい位にして置いてなれば、親戚故舊とも十二分に温情を與へ得て、新しき生氣に満ちて渡米が出来、又利益ある品を携えて再渡米出来るだけのことも爲し得る、又そうした人もある。

尙ほ書足しておくが、急いだ爲に證明書を貰ひ來らずして、駐米日本會に納めたる會費の領收書その他の證書を示して確に在米した事が明かになつて渡米した所の人もある、如斯場合にはその最も信用ある人を依頼して、その確實なる事を證明して漸くにして旅券を得た人もあるが、これは甚稀なる場合故、是非とも證明書を貰つて來ることは再渡米せんとする人の呉れ、くも忘れてはならぬ事である。

若し出来れば往復切符を買つて歸れば大變安く求められる、四ヶ月以内に再渡米する考の人には之れは見遁すべからざる經濟的の得策であるのみか、決心も堅く、期限内にどしどし事を運んで出かける事になる。

### 歸國せんとする人に告ぐ

在米十年何一つなす所もなく早く已に奮闘に疲れ果て空しく山水明媚の



故國に起臥せんとして歸る人、苦闘十年事成り意昂つて錦衣を飾り故國を見舞はんとする人米國に新事業を見出し母國の有志と交渉せんがために歸る人母國と取引を開始するための人、妻を迎へんがため、疾病のため、長くなつたので何となく故國が懐しくて歸つて見たい人、その何れにしても歸つて見たいのは同じ事、在米同胞百人中九十九人まで歸つて見たい情があるのは普通の事、然し一度歸朝しても何んだか詰らないと直きに米國へ歸りたくなる、一遍米國へ行つてから暫くすれば歸國の情願が盛んで心を往來し出す、向ふで好機會さへあれば戻らうとする、けれども熟々在米同胞の状態を視察すれば歸りたいが至當である歸りたい譯には色々ある、たゞのホームシック、矢鱈に戻りたい、何となく米國の大陸的風景が心に染まないう其れには千差萬別だが同情す可き點も十分ある、それなら歸つて來ても好いかと云ふにどうしてそうは決して云へない、歸らぬ方が多く利益を得

てゐる、迎妻の事などは信任してゐる父母朋友などに委頼しておけば理想的とまで行かずとも、そう不満足なものを世話するものではない、商法上の取引も信望ある人に交渉すれば當人さへ正確にやる積りなれば十分に出來る、故山の風景と云つても人は現在の位地に安んずれば不足が出なくもなる、少し忍耐すれば大抵の事はみな解決のつく事であり、それを婦女子の如に些々たる一片の小感慨に思慮を失ひ前後の分別なく匆々歸途に就く人がある。

やつと貯めた金を費消し、仕かけた仕事も投げやりにする、排日よりこれが爲に失敗する人も多いから恐れたらばヨイ、一度日本へ來てみてもどうしても又米國へ行きたくなる、大陸的態度がないので心足らない日本の仕事もいくらか爲難くなつてゐる思つた様に迎へても呉れない、これでは氣力のない人には無論日本の方が生活し易いか知れぬが、精力に富んだ人



はどうしても日本では我慢が出来ない従つて又眞面目に考へ出し米風に大仕掛にやつて失敗するのが多いが日本ではやり甲斐がない様に覺える、洗濯屋の如きも桑港には澤山あるから東京にも一つ位蒸氣仕掛でやつてもよからうと思つて始めてみて失敗した人もあるこれは日本では未だ洗濯屋に出す程のものが少ないので今から云へば何時か桑港以上にもなるであらうが生活の程度がそこ迄上らないを知らざる唯想像で歸つて來て仕事をしても失敗に了り易い、故に歸るにしても歸國の上始めんとする仕事を充分調査を重ねて必ず確乎とした成算が立たなら兎も角、事實それであれば折角資の山に分け入つて手を空しく歸るのは斷然止にした方がよろし日本人が歸化權を得る事を極力主張すると共に記者は永住の念を持つ様にして貰ひたい併し諸君の歸朝を歓迎せぬ譯でも同情せぬのでもないがどうしても歸るのは不利であると思ふての事で、諸君をしてより以上の幸福を受け

さしむる所以でないから云ふ迄の事に過ぎない著者も度々日米間を往來して見る所もきく所もあり同胞諸君の集會でも再三演説もした識者の内にも同感の士が多い在米日本人が動々もすれば減少して來る今日誰れも彼れも歸られては幾多の難關を経て築き來つた大和民族發展の基礎をみす／＼破壊する事となる、自己のためを思ひ大和民族の福祉を思はゞ成る丈歸朝せぬ様に努められたい、これは日本に歸るのを拒むのではない、諸君の爲民族のため克己忍耐して彼土に踏み留つて奮闘するのは即ち國を愛する所以ではあるまいか、諸君は試みに一旦歸國して直に米國へ舞ひ戻つた人に就いて其感想を訊いて見られよ如何にも厭やであつたといふ事を異口同音に聞くであらう、實にその通り不愉快なものである予の如き度々往來する者でも米國に少しの間ゐて米國の生活に慣れると日本へ戻れば日本の生活が窮屈になるそれ故著者が渡米すれば贅澤や氣樂な事は一切慣れない事にして



居る日本風に一切の事をやる様に心掛けてゐるが、それ程に心掛けて渡米してさへ歸つた當時は日本の生活法が不愉快である況んや在米十年にして戻れば日本の生計に耐え難いのも敢て無理ならぬ事と思ふ博覽會に一度歸るとか日米戦争が起つたら歸るとか云ふなら無意味でもないが、随分無茶に戻る人があるから豫めこゝに記し渡米せんとする人にこの決心を促かして置きたいと思ふ所以である勿論研究のため行つた人が留學を卒へて歸るのは又別である、そんな人には是非歸つて貰はねばならぬ次第である。

### 在米同胞と徴兵令

米國に在る日本臣民は滿三十二歳までは徴兵猶豫を出願する事が出来る徴兵猶豫を乞はんとする者は所在帝國領事館から在留證明書を受け取り其證明書を添へて本籍地の村長に向け徴兵猶豫願を差し出しておく但し出願

者に家族がない時は戸主からこれを差し出せばよい、前記の居住證明書は旅券に手数料として現金五十仙を添へて所在帝國領事館に其下附を願ひ出る若し旅券を無くした時は領事の承諾を得た保證人の連署が入るのだ、徴兵猶豫願書は毎年必ず一回宛滿三十二歳まで同一の手續を以てこれを差し出すものである願書の差出期日は毎年一月一日から四月十五日までに聯隊區徴兵官の手許に到着する様にす、若し此期間に後れたものは猶豫の特典を失つて了ふ徴兵の義務ある者で猶豫願を忘る時は徴兵令第三十一條に依り兵役を忌避する者と看做されて一箇月以上一箇年以下の禁錮に處せられ且つ三十圓以下の罰金をもとられる。

米國に在つて徴兵猶豫を乞へる者にて滿三十二歳までに歸朝する時は抽籤の法に依らないで徴集される但し體格検査は合格した上での事である、米國に在つては徴兵を猶豫される者で滿三十二歳までに歸朝した時は歸國



の日から十四日以内に戸主から書面にて本籍地の市町村長に其旨届け出なければならぬ若しそれを怠る場合には三圓以上三十圓以下の罰金に處せられる、徴兵猶豫中のものが満三十二歳に達した時は國民兵役に編入される。

此所に注意しなければならぬのは猶豫願が毎年四月十五日までに徴兵官の手許に達しない時は如何なる理由があつても直に猶豫の特典が失ふ事となる、だから毎年一月になつたら成る可く早く出願するがよい。

米國に在る豫備役後備役又は補充役に屬してゐる下士卒は勤務演習又は簡閲點呼のために召集される事がない、けれども若し召集の通知を受け或は其他の手續で召集の事實があつた事を確知した時は直ぐに歸朝して本籍地到着後二十四時間内に市町村長を経て聯隊區司令官に届け出でる、以下は戦時又は非常の場合に於ける召集について述べる。

召集に應ずる者は令狀及び軍隊手帳並に印形を持つて召集事務所に出頭

する、勳章のある人はこれを佩用する、若し召集の通知を受けた者が令狀の交付を受けるために到着が遅延する様な時は令狀を持たなくとも好い。

召集に應ずる者が指定の時日に先方に到着出来ない時は所在地の帝國領事に就き其通知を受けた時日及び出發日時の證明を受け到着の上召集事務所に届け出でる、若し正當の理由ないのに此規定に背いた時は五十圓以上一圓九十五圓以下の科料に處せられ、五日以上十日以内の拘留に處せられる召集された者が召集令狀又は召集通知を受取つた際負傷又は疾病のため召集に應ずる事が出来ない時は令狀又は通知を受取つた後二十四時内に聯隊區司令官に宛てた醫師の診斷書に令狀若しくは通知書を添へてこれを本籍市町村に差し出す但し寄留又は旅行先きから届出でる者は本籍市町村長に宛て發送しなければならぬ、正當の理由がないのに此規定に違反する者は前記と同一の罰を受ける、令狀又は通知書を受取つて未だ出發しない内に



負傷又は疾病に罹つた者は直ぐに前記の手續を爲す、召集令状を受けた者が犯罪の爲め刑期服役中又行衛不明のため召集に應ずる事が出来ない時は令状を受取つた者から受領後二十四時間内に聯隊司令官に宛てた届書に公官吏の證明書及令状を添へこれを本籍地の市町村長に差出す、召集に應じて出發の途中にて負傷又は疾病に罹り到着が遅くなる虞がある時は直ちに醫師の診断證を添へて召集部隊長に届け出發する事が出来る時は速かに到着の上召集事務所に届け出づる。

負傷疾病の外止むを得ざる事のため到着が遅れるやうである時は滞在地の官公吏から滞在日數の證明書を貰ひ船長若くは驛長の證明書をつけて到着の上召集事務所に届け出づる、正當の事由なくその規定に背いた時は五十錢以上一圓九十九錢以下の科料に處せられ又は五日以上十日の拘留に處せらる、兵籍に在る者が外國滞在中創傷又は疾病のため永久服役に堪えな

いと知つた時は地方醫師の診断書を添へ公吏又は領事の證明を経て聯隊區司令官に届け出づる此場合には豫後備補充其他の兵役を免せられる事あるかも知れない。

外國滞在中戸籍に異動が生じた時は十四日以内に市町村長を経て聯隊區司令官に届け出でる、在留軍人にて重輕罪(罰金は除く)の刑に處せられた時は刑名及刑期を記し聯隊司令官に届ける、在留下士卒、上等兵が禁錮の刑に處せられた者は其兵科の一等卒に降等される、看護長、看護手、計手は前兵科の一等卒に降下される、若しそれ等の規定に反いた者は金五十錢以上一圓九十五錢以下の罰金に處せらる。



新 渡 米 法 終

著 作 權 所 有

明治四十四年十月  
明治四十四年十一月  
發行

定價金四拾錢

(新渡米法與付)

著 者 島 貫 兵 太 夫

發 行 者 東 京 市 日 本 橋 區 本 町 三 丁 目 八 番 地 大 橋 新 太 郎

印 刷 者 東 京 市 小 石 川 區 久 保 町 百 八 番 地 水 谷 景 長

印 刷 所 東 京 市 小 石 川 區 久 保 町 百 八 番 地 博 文 館 印 刷 所

發 行 所 東 京 市 日 本 橋 區 本 町 三 丁 目 博 文 館

振替貯金口座東京二四〇番



巖谷小波君著

發行所 博文館

# ●新洋行土産

全二冊新形特製  
體裁瀟灑紙函入  
正價各金壹圓廿錢  
小包料各金八錢

先に伯林二年の觀察を、洋行土産二巻に著はして、爲に洛陽の紙價を費からしめたる著者は此度渡米實業團に加つて、在米三月間の見聞を、

新洋行土産として發表す。著者が銳利な眼光と輕妙な筆致とは、定評ありて

彼の實業團の渡米や。又本邦空前の舉光彩を異にせりも論を俟たざるなりとす。本書他の外遊記に比して其光彩を異の元より論を俟たざる

米國文學博士  
宮本桂仙君著

## 紳士の顧問

全一冊三六列  
二百三十頁  
正價金參拾錢  
郵税金六錢

伊藤銀月君著

## 旅行者寶鑑

全一冊三六列  
紙數三百頁  
正價金四拾八錢  
郵税金六錢

田村松魚君著

發行所 博文館

# ●北米世俗觀

全一冊三六列  
體裁瀟灑美本  
正價金參拾五錢  
郵税金四錢

### 風俗管見

ハンカチーフ○サスマ  
ンター○靴○外套○煙  
草○敷の設み方○指抜  
○手と足○眉○頭髮○  
髯○握手○男は力を要  
する○接吻を投ずる○

### 秋波○泣き方○怒り方

○ステッキ○襟飾○食  
べ物○女の口髯○帽子  
○襟と靴の踵外數十項  
天幕生活  
○危険豫想を外たる金  
錢の掛らぬキャンピン

### ケ生活外數項

簡單なる家庭  
桃の實  
在米同朋の勞働  
生活  
在米の日本青年

### 内容

米國文學博士  
宮本桂仙君著

## 西洋男女交際法

全一冊袖珍  
二六頁  
正價金廿五錢  
郵税金四錢

目次  
○總論○婚姻○未婚女の心得○理想の男子○理想の女子○婚姻の儀式○妻が夫  
に對する心得○夫が妻に對すること○母の心得○西洋儀式(禮式、衣服及化粧、  
紹介と挨拶、訪問及談話、食室内、道路又は公開場所に於て理想の女子)



米國參謀官  
斷水樓主人 池 荷一、リー將軍著  
亨吉君譯

(口繪) 著者肖像及銅版密  
刻地圖十枚挿入

# ●日米戦争

全一冊 菊判南京綴  
紙數二百六十二頁  
正價金七拾錢  
郵税金七拾錢

當今世界に於ける最大人氣書籍『ザ、ゲエーラー、オブ、イグノランズ』の譯書出

著者は米國參謀官  
の身を以て臆する  
處無く日米戦争を  
論じ而も日本の大  
勝利を説きて商業  
主義に腐敗せる米  
國民の意氣地なき  
を憤慨す

眞に是れ世憂國の熱血文字!!  
米國政府は其第一版より第十  
に十數萬部を購入して共 英國富  
に其陸海軍人に分配し、俄か仕  
して二十萬金を投じ、俄か仕立  
擔ぎ出して其影響を防ぐに努力  
而して譯者は支那及び佛領印  
歸來直ちに支那革命見聞の長文  
紙上に連載して非常の喝采を得  
快腕を振り、今や此書の翻譯版  
よりも面白く哲學よりも玄妙真  
血性男子の好讀物!!

天眼 鈴木 力君著

發行所 博文館

# ●南阿南米行

(雄拔怪奇なる  
寫眞夥多挿入)

全一冊 菊判洋布上製 紙數三百廿頁  
正價金九拾錢 郵税 拾錢

帝國の隆運を貢へる巨艦生駒に依り航程一萬二千海里なる海上陸面の開見所感を著者實  
寫に努め三大洋の雲容濤力と南半球の日星風月とを活現せしめ更に大英民族の植民成功  
の秘線に觸れ南阿無盡の天然富料——新雄邦結成の情由——現代的擴充の消息——英雄  
セシル・ローツの氣魄精根等を筆路に深刻し沉く一般の老少に海外空氣を會得せしめ進  
取發展の氣分識想を吹銘する者は本書の所期なり文章は親切調査は斬新坐せる海國健兒  
一讀忽ち奮起せむ

法學士  
山本信博君著

## 北米合衆國史

並製 金四拾錢 郵税八錢  
特製 金五拾五錢 小包八錢

北米合衆國は建國以來僅々百餘年を経過せしに過ぎずと雖も其富強は即ち世界に冠たり其  
進歩の跡を釋ゆる豈趣味なしとせんや北米合衆國は我が東隣の友邦にして而も政治上經濟  
上最大の味方たると共に又最大の敵手たり其國を知る豈今日の急務に非ずや本書は更に其  
趣味と實益とを兼ね備ふる者殊に邦文北米合衆國史の先驅なり敢て江湖の一讀を求む



外務省通商局編纂

(風景寫真版八葉挿入)

發行所 博文館

# ● 最近 印度事情

最新の材料——精確の調査

全一冊 菊判上製  
紙數四百六十八頁  
正價金壹圓參拾錢  
小包料金拾貳錢

第一章	商業	第二章	農業	第三章	工業
第四章	鑛業	第五章	運輸交通	第六章	一般施設
第七章	軍事	第八章	教育の概況	第九章	租稅
第十章	土人州				

河村有頂君著

最近 北米事業案内

全一冊 四六判 正價金卅八錢  
三〇〇頁 郵稅金六錢

中央新聞記者  
岡田雄一郎君著

滿洲起業案内

全一冊 三六判 正價金參拾錢  
二六八頁 郵稅金六錢

諸元勳題字並に序

農商務省 德永勳美君著  
商工局員

地圖五葉(大判石判) 寫真版五十頁(光澤紙刷)挿入

# ● 韓國總覽

正價金參圓參拾錢 小包料金拾六錢

全一冊 菊判總クローネ  
上製金模機押美本  
紙數 千五百頁

本書の内容は 朝鮮に於ける總ての事項を網羅し且つ 所載事項は最新的確のものを百八十八款百七十二項に分類し且つ 殊に農工商一般經濟上に関する各項に對し最も重きを置きたる所以のもの朝鮮經營の要義は一に經濟的發展に在るを以てなり 實業家經濟家は本書を 經營の羅針盤となし 便益を享多きを信ず

奥田竹松君著

北清之商業

全二冊 菊判 正價金四拾錢  
二二〇頁 郵稅金八錢

齊藤修一郎君著

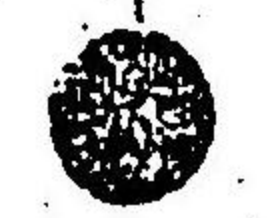
米國商工大勢論

全一冊 菊判 正價金廿五錢  
一六四頁 郵稅金六錢



盛岡高等農林學校  
鹿兒島高等農林學校  
臺灣總督府囑托

農學博士 恒藤規隆君著



# 南日本の富源

全一冊洋裝菊判總  
クローヌ上製美本  
正價金壹圓六拾錢  
小包料金拾六錢

石版 彩色圖廿枚 挿入

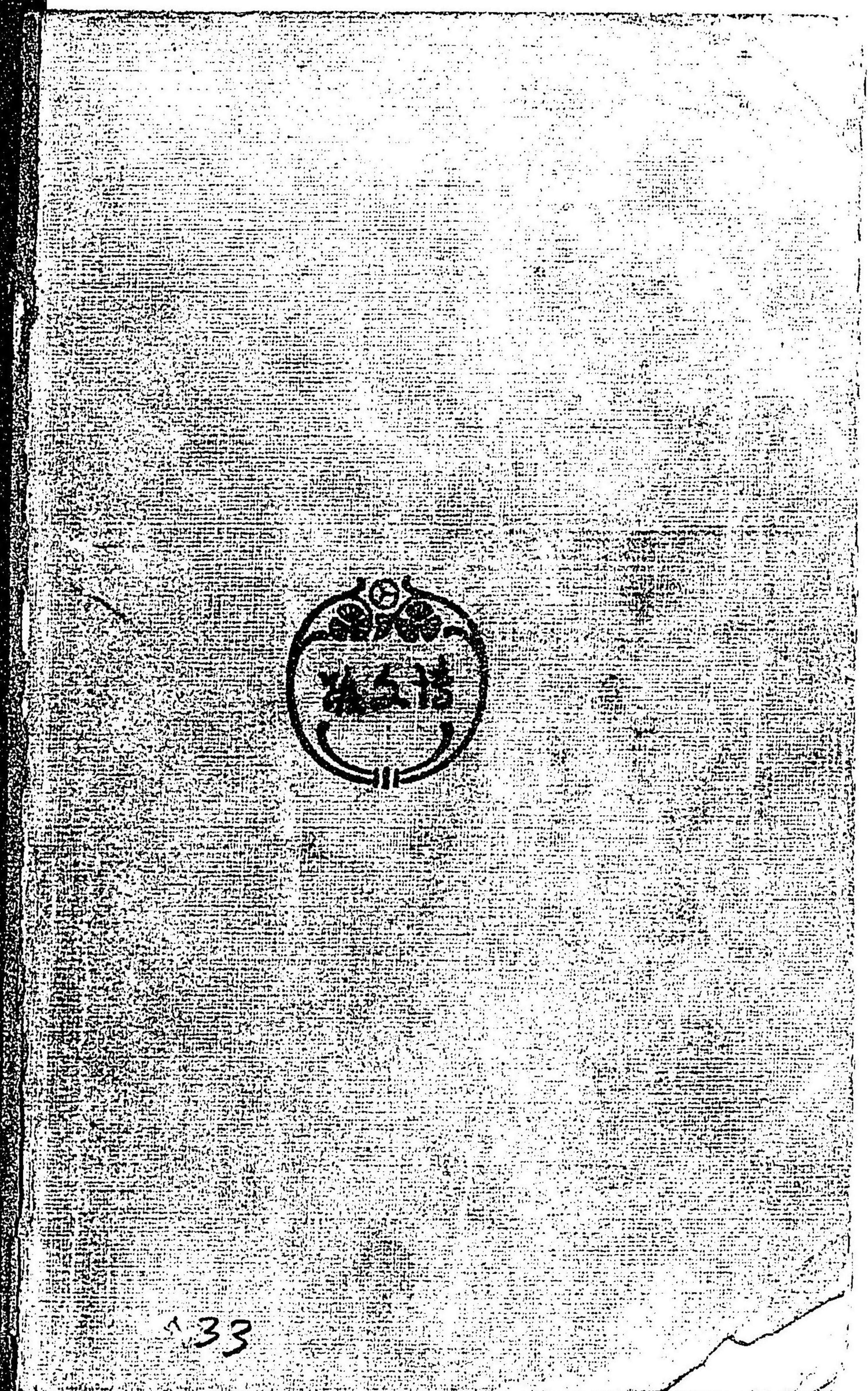
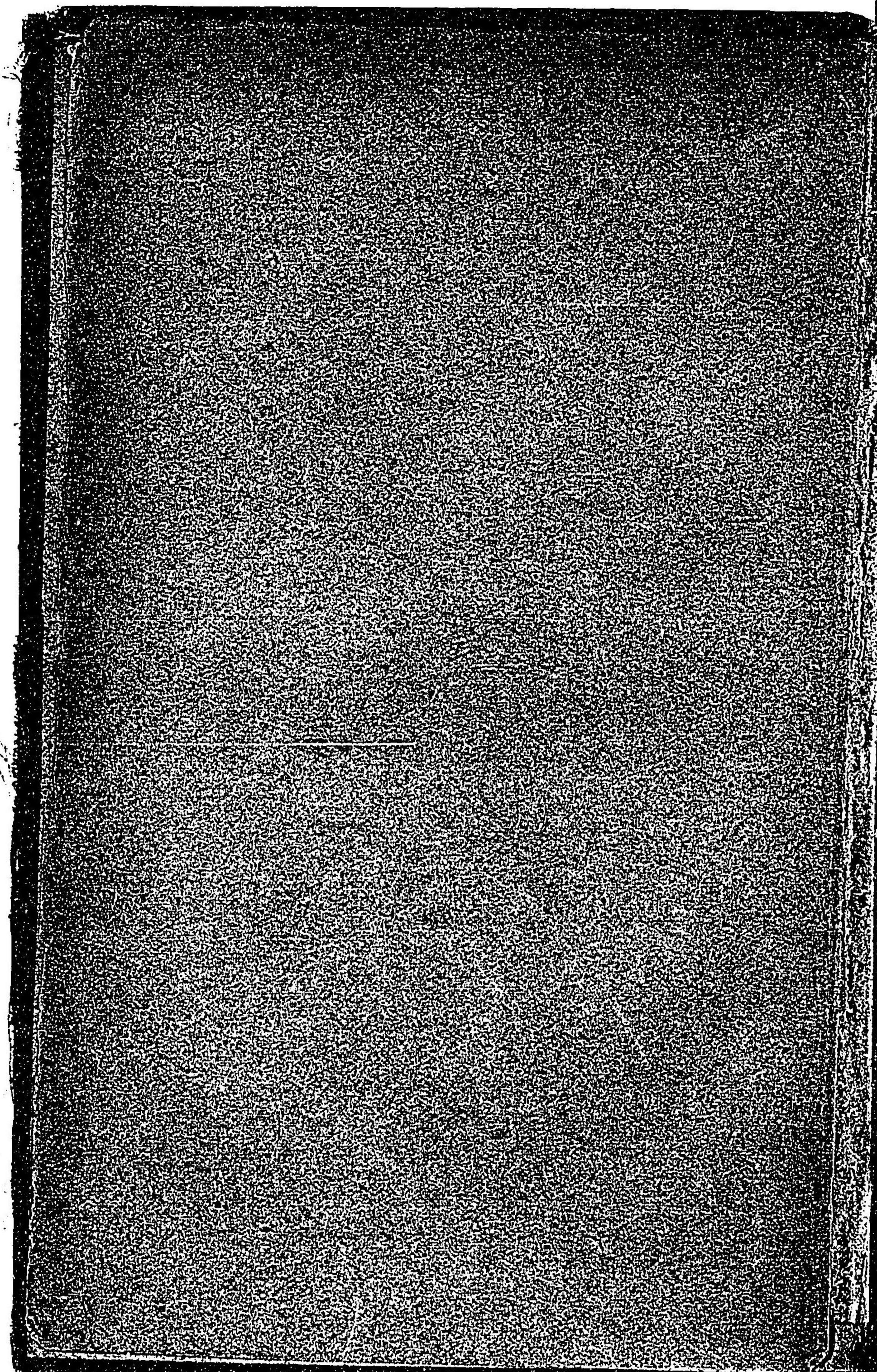
(精確細)

外にヨーロッパ一枚寫眞版數十個

本書は多年臺灣及び沖繩地方に深き關係を有せらるる恒藤農學博士が南日本の利源開發を誘導し事業經營の指針となさんが爲め著作せるものにして説く所は専ら平易を旨とし臺灣本島及び附屬諸島琉球諸島大隅大島の各島竝に小笠原列島等の寶儲を紹介し以て諸般の事業經營者の便宜に供したるもの近年稀に見る一大珍著たり

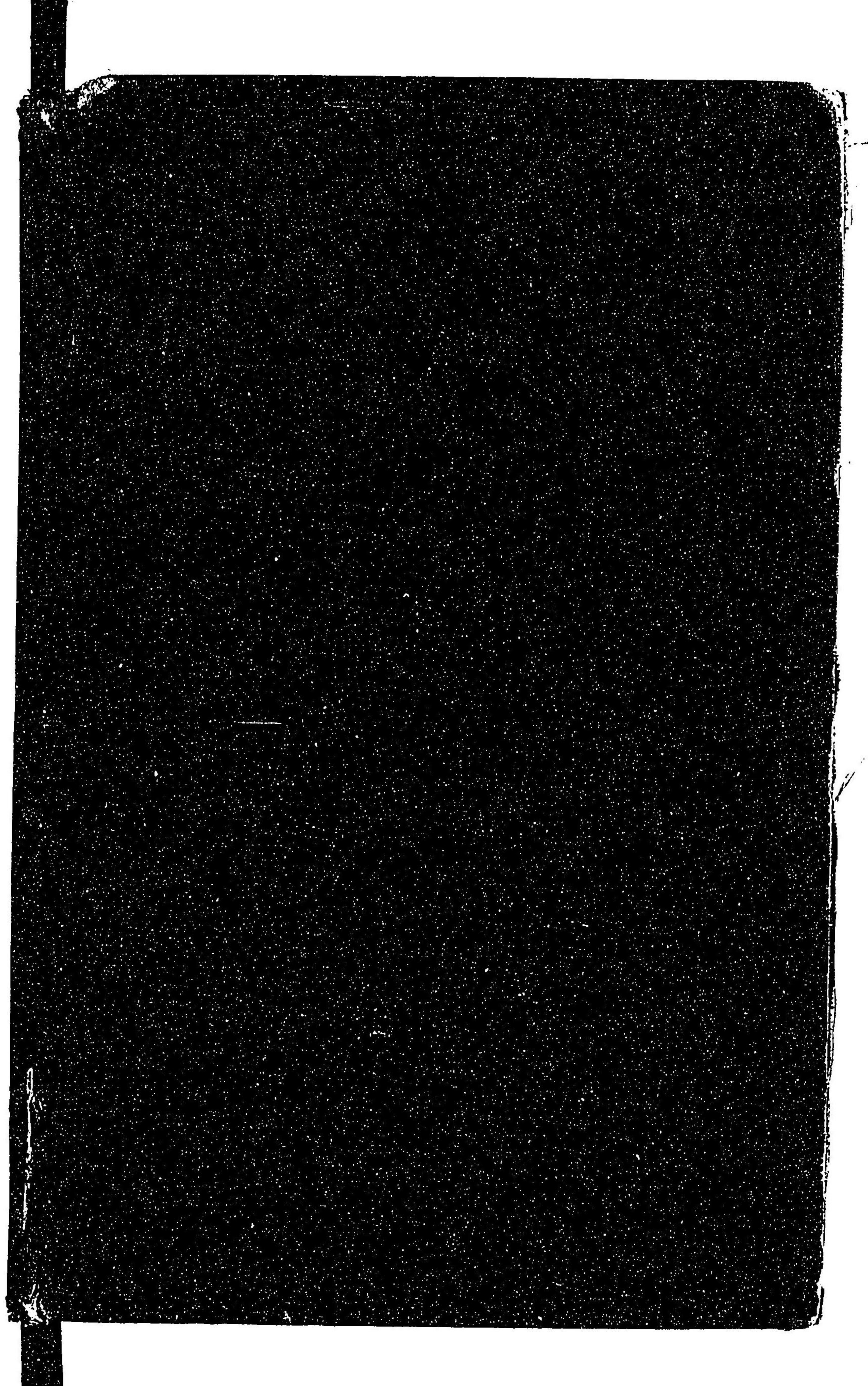
(發行所 博文館)





133







332  
203

026909-000-7

332-203

新渡米法

島貫 兵太夫/著

M44, 12

ADG-0028





